AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド

ソフトウェア更新ツール編

第21版



■対象製品

このマニュアルの対象製品は AX-Networker's-Utility (ソフトウェア更新ツール Version 1.17)です。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には,外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の 輸出関連法規をご確認のうえ,必要な手続きをお取りください。 なお,不明な場合は,弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

IPX は, Novell, Inc.の商標です。

Oracle と Java は, Oracle Corporation 及びその子会社, 関連会社の米国及びその他の国における登録商 標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。 Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。 Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標で す。

インテル Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2020年 3月 (第21版)

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2008, 2020, ALAXALA Networks, Corp.

変更内容

【Ver. 1.17】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.3 利用環境	表 1-1 装置側環境で,対象ソフトウェアバージョンを
	更新しました。
	表 1-2 ソフトウェア更新サーバ側環境で,以下を更新
	しました:
	・動作確認済みJava実行環境を更新
1.4 注意事項	(5) ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに
	AX2500S および AX2500SE のソフトウェアファイルを混
	在させる場合の注意 を追加しました。
2.2 装置新ソフトウェアをソフ	ソフトウェアファイルのファイル名で,AX2500SE の場
トウェア更新サーバに配置する	合を追加しました。
5.1 トラブル発生時の対応	表 5-1 トラブル発生時の対応方法 へ項番8を追加し
	ました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

■対象製品およびツールバージョン

このマニュアルは AX-Networker's-Utility (ソフトウェア更新ツール)を対象に記載しています。また, ツール バージョン Ver. 1.17の機能について記載しています。操作を行う前にこのマニュアルをよく読み,書かれて いる指示や注意を十分に理解してください。また,このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使い やすい場所に保管してください。

■対象読者

本製品を利用したネットワークシステムを構築し,運用するシステム管理者の方を対象としています。また, 次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識
- 装置に関する基礎的な知識

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

http://www.alaxala.com/

■このマニュアルでの表記

略語を以下に示します。

API	Application Programming Interface
AXNU	AlaxalA Networker's Utility(AX-Networker's-Utility)
CA	Certificate Authority
CLI	Command Line Interface
CSV	Comma Separated Values
DB	Data Base
GUI	Graphical User Interface
HTTP	HyperText Transfer Protocol
ID	Identifier
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPX	Internetwork Packet Exchange
JRE	Java SE Runtime Environment
L2	Layer 2
L3	Layer 3
LAN	Local Area Network
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
MAC	Media Access Control
OAN	Open Autonomic Networking
ON	Open Networking
PC	Personal Computer
SDK	Software Development Kit
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol

SQL	Structured Query Language
SSL	Secure Socket Layer
TCP	Transmission Control Protocol
TLS	Transport Layer Security
VLAN	Virtual LAN
VRF	Virtual Routing and Forwarding
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable
XML	Extensible Markup Language

製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を次の表	に示します。			
正式名称	このマニュアルでの表記			
Java SE Runtime Environment	Java			
Java SE Development Kit				
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2 または Windows			
Operating System				
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard				
Operating System				
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 または Windows			
Operating System				
Microsoft® Windows® 7 Professional	Windows 7 または Windows			
Microsoft® Windows® 7 Enterprise				
Microsoft® Windows® 7 Ultimate				
Microsoft® Windows® 8.1 Pro	Windows 8.1 または Windows			
Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise				
Microsoft® Windows® 10 Pro	Windows 10 または Windows			
Service Pack	SP			

■KB(バイト)等の単位表記について

1KB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024 ×1,024 バイト, 1,024×1,024×1,024 バイト, 1,024×1,024×1,024×1,024 バイトです。

■このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号について説明します。

記号	説明
[] (角括弧)	メニュー名、画面名、またはフィールド名を表しま
	す。
	メニュー名を表す場合は,上位メニューから下位メ
	ニューへとメニューが階層化されていて、下位のメ
	ニューを示す場合は、上位と下位のメニュー名の間
	をハイフンでつないで表記します。
	例:[ファイル] - [終了]
	画面名を表す場合は、角括弧内に画面名を表記しま
	す。
	例 : [IP アドレスの入力]画面
	フィールド名を表す場合は、角括弧内にフィールド
	名を表記します。
	例:[IP アドレス]欄
〔 〕(きっ甲)	ダイアログボックス内のボタン名を表します。
	ダイアログボックス内のボタン名は、括弧内にその
	ボタンのラベル名を表記します。
	例:〔終了〕ボタン

目次

1.	は	じめに1
1.	.1	こんなことができます2
1.	.2	収容条件11
1.	.3	利用環境12
1.	.4	注意事項14
2.	準	備16
2.	.1	ソフトウェア更新ツールのインストール17
2.	.2	装置新ソフトウェアをソフトウェア更新サーバに配置する19
2.	.3	装置の設定を行う22
3.	ソ	フトウェアの更新24
3.	.1	装置を登録する25
3.	.2	装置の運用バージョン情報を取得する41
3.	.3	装置のソフトウェアを更新する43
4.	ッ・	ールの設定ファイル 48
4.	.1	設定ファイル49
4.	.2	設定項目一覧
5.	ጉ :	ラブルシューティング 55
5.	.1	トラブル発生時の対応56
5.	.2	メッセージー覧
5.	.3	ログファイル

1. はじめに

この章では、ソフトウェア更新ツールの概要について説明します。

1.1 こんなことができます

<u>1.2 収容条件</u>

<u>1.3 利用環境</u>

<u>1.4 注意事項</u>

1.1 こんなことができます

AX-Networker's-Utility (ソフトウェア更新ツール)は、機能追加/脆弱性対応等 による装置ソフトウェアの更新作業を、ソフトウェア更新サーバから集中的に 実施できます。

- telnetやftp(CLI),またはSDメモリを利用した一連の装置ソフトウェア更新作業を、GUIを利用して簡単に実施できます
- 更新対象の装置(複数台可能)をグループとしてまとめ、グループ毎に装置ソフトウェアを更新できます

これにより、更新作業時間を短縮、および更新対象装置の台数が多い場合に作業者の負荷を軽減できます。

1.1.1 ソフトウェア更新ツール構成

ソフトウェア更新ツールの構成を図に示します。





構成要素を以下に示します。

① ソフトウェア更新サーバ

AX-Networker's-Utility(ソフトウェア更新ツール)をインストールした PC です。更新対象装置のソフトウェアファイルを格納しておき、装置更新時 にそのソフトウェアファイルを利用して更新操作を行います。

② 装置情報ファイル

グループとグループに所属する装置の情報を記載した, CSV 形式のファイ ルです。直接ソフトウェア更新ツールへグループ,装置を登録して作成す るか,スプレッドシートアプリケーションやテキストエディタで作成しま す。

③ ソフトウェアファイル

装置のソフトウェアを更新するためのファイルです。

④ グループ

装置の運用バージョン取得または装置のソフトウェアを更新する操作単位 です。グループへは複数の装置を登録することが可能です。グループを構 成するには,基本的にはソフトウェア更新サーバからの距離(ホップ数) が同じ装置をまとめます。

⑤ 装置

装置ソフトウェアを更新する対象の装置です。

1.1.2 画面構成

ソフトウェア更新ツールの画面構成を以下に示します。

図 1-2 ソフトウェア更新ツールの画面構成

ー・192.168.0. ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.3 ー・192.168.0.4 ー・192.168.0.4 ー・192.168.0.4 ー・192.168.0.4 ー・192.168.0.4 ー・192.168.0.1 ー・192.168.0.1 ー・192.168.0.1 ー・192.168.0.1 ー・192.168.0.1 ー・192.168.0.1 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.2 ー・192.168.0.3 ー・192.168.1 ー・193.168.1 ー・193.1	(装置1) 2(装置2) 3(装置3) 4(装置4)	IPアドレス 103 169 0 1	装置名	場所			
- ● 192.168.0.1(装置1) - ● 192.168.0.2(装置2) - ● 192.168.0.3(装置3) - ● 192.168.0.3(装置4) - ● 192.168.0.3(装置1) - ● 192.168.1.1(装置1) - ● 192.168.1.2(装置2) - ● グループC - ● グループD - ● 192.168.3.1(装置1) - ②		192.168.0.2 192.168.0.3 192.168.0.4	<u>装置1</u> <u>装置2</u> <u>装置3</u> 装置4	Center 1F Center 1F Center 1F Center 1F		更新パージョン	ステータス
<u> </u>						⑥ 運用バー	ジョン取得 実行
日付時	阂	IPアドレス	メッセージ	ี ฃ			
2014/01/09 09:	38:42.790		アプリケー	-ションが起動し	ました。		
2014/01/09 09:	38:43.023		J71/WJ	『元み込みが止	こみからしむした。		

画面を構成する要素の説明を以下に示します。

① メインメニュー

ソフトウェア更新ツールの操作を行うためのメニュー項目が定義されてい ます。

2 装置一覧ツリー

装置をグループ毎にツリー表示します。グループの追加/変更/削除,装置の追加/変更/削除,装置操作を実行できます。

③ 選択グループ

装置一覧ツリーで選択されているグループの名前を表示します。

④ 処理方式

ソフトウェア更新を行う際,1装置ずつ更新(シリアル実行)するか,複 数台の装置を並行で更新(パラレル実行)するかを指定します。なお,運 用バージョン取得は処理方式の選択に関わらず、常にパラレル実行します。

⑤ 装置情報テーブル

選択されたグループに所属する装置の情報を一覧表示します。テーブルの 左から順に以下の情報を表示します。

- 処理対象かどうか(チェックボックス列)…装置操作ボタンを押下した際,装置が処理対象かどうかを示します。
- ・ IP アドレス…装置へ付与した IPv4 アドレスを示します。
- ・装置名…装置へ付与した装置名を示します。
- ・場所…装置へ付与した場所を示します。
- 運用バージョン…装置で現在利用しているソフトウェアのバージョンを示します。装置操作ボタンの〔運用バージョン取得〕を押下して取得します。
- 更新バージョン…ソフトウェア更新を行う際のソフトウェアファイルのバージョンを示します。
- ステータス…装置の処理状況を示します。処理失敗時はピンク色で 表示されます。処理には、運用バージョン取得、アップロード、ソ フトウェア更新、再起動確認があります。状態には、実行待ち、実 行中、終了(成功)、終了(失敗)、終了(中止)があります。表 示される内容としては、処理および状態の文字列の組み合わせにな ります。冗長構成を取ることができる装置の場合には、さらに処理 を実施している系の文字列、運用系、待機系、旧運用系も組み合わ されます。
- ⑥ 装置操作ボタン

ソフトウェア更新対象の装置に対し、以下の操作を行うボタンです。

- 運用バージョン取得…装置で現在利用している装置ソフトウェアの バージョンを取得します。
- ・ 実行…ソフトウェア更新を実行します。
- ⑦ ログ情報テーブル

画面操作,処理状況を時系列に表示します。

1.1.3 使用例

本節では、ソフトウェア更新ツールの使用例を、利用目的別に説明します。

例1:なるべく通信できる範囲を活かしながら更新 STPやリング等で冗長構成が組まれているネットワーク内にある装置を同じグ ループに所属させ、それらを「シリアル実行」で更新を実行することで、冗長 機能によりネットワークの接続性を維持できます。





実施手順は以下のようになります。

(1) グループ1に対してソフトウェア更新を実行

 \rightarrow

AX スイッチ1~AX スイッチ4が1台ずつ順番に更新されるので, 冗長機能に よりネットワークの接続性を維持できます。 例2:複数台の装置を並行して同時に更新

複数の装置を1つのグループに纏めると、これらの装置は、1回の操作で同時 に更新することができます。

複数装置の纏め方によっては、ソフトウェア更新による装置再起動により、並 行して同時にソフトウェア更新を行っている他の装置と、ソフトウェア更新サ ーバ間の通信が切断してしまう可能性がありますが、図1-4のように、ソフト ウェア更新サーバからネットワークトポロジを基に近い順にグループ分けする ことで、AX スイッチ6を更新している最中にAX スイッチ3を更新して、AX スイッチ6のソフトウェア更新に失敗するといったことを回避できます。





実施手順は以下のようになります。

- (1) グループ2に対してソフトウェア更新を実行
- (2) グループ1に対してソフトウェア更新を実行

 \rightarrow

合計2回の操作で各グループすべての装置を更新できます。また,グループ内の装置は並列で同時に更新されますが,更新している最中の装置とソフトウェ

ア更新サーバ間の接続が切断されてソフトウェア更新に失敗することはありま せん。

例3:完全にネットワークをダウンさせずに更新

ネットワークを冗長構成で組んでおき、各装置をそれぞれ1つのグループに予め所属させておきます。その後、更新対象の装置を通信路にならないように冗 長構成機能のパラメータ(STPのコスト、VRRPの優先度、GSRPのバックア ップ, etc.)等を変更して、トラフィックが流れていないことを確認してから更 新を1つずつ実施することで、ネットワークの接続性を維持できます。

図 1-5 完全にネットワークをダウンさせずに更新



実施手順は以下のようになります。

- (1) 冗長構成機能のパラメータ等を更新, トラフィックを確認
- (2) グループ1に対してソフトウェア更新を実行
- (3) 冗長構成機能のパラメータ等を更新, トラフィックを確認
- (4) グループ2に対してソフトウェア更新を実行
- • •

ネットワーク状態を確認しながら, AX スイッチ1~AX スイッチ4を1台ずつ

順番に更新することができ、ネットワークダウンを回避することができます。

例4:ソフトウェアを更新する操作単位でグループを編成するの ではなく、場所やフロア等の単位でグループを編成したい 例1~例3では、ソフトウェア更新を実行する単位でグループを編成しました が、例えば場所やフロア等の単位でグループを編成し、かつ、例1~例3と同 様の操作を行うといったこともできます。このような場合は、グループに属す る装置のうち、ソフトウェア更新の対象とする装置のみを選択して、ソフトウ ェア更新を行います。

図1-6 場所やフロア等の単位でグループを編成して更新



実施手順は以下のようになります。

(1) AX スイッチ1のみを選択し、グループ Center IF に対してソフトウェア更新 を実施

グループ:Center1F



(2) AX スイッチ2のみを選択し、グループ Center1F に対してソフトウェア更新 を実施

グループ: Center1F



(3) グループ Center2F に対しても、グループ Center1F と同様に装置1台ず つソフトウェア更新を実施

例5:アプリケーション起動ツール等から本ツールを起動したい 場合

コマンドライン文字列を登録してアプリケーションを起動するツール(アプリ ケーションランチャ)等から本ツールを起動したい場合には,以下の作業ディ レクトリ(カレントディレクトリ)およびコマンドライン文字列を指定してく ださい。

[作業ディレクトリ]

<TARGETDIR>¥SoftwareUpdater

[コマンドライン文字列] ※1行で記述します

"<TARGETDIR>¥SoftwareUpdater¥SoftwareUpdater.bat"

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

1.2 収容条件

ソフトウェア更新ツールの収容条件を示します。

(1) 同時処理数

同時に処理できる装置台数の上限は5台です。これはソフトウェア更新の処理 方式でパラレル実行を選択した場合が該当します。

(2) ログ情報テーブルのレコード数

ログ情報テーブルのレコード数の上限は3000エントリです。

1.3 利用環境

ソフトウェア更新ツールの利用環境を以下に示します。

表 1-1 装置側環境

対象装置	AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S
	AX3800S/AX3600S/AX2500S/AX2400S/AX2200S/AX2100S
	AX1250S/AX1240S
対象ソフトウ	AX6700S/AX6300S…10.8~11.9.U
ェアバージョ	AX6600S…11.1~11.9.U
ン	AX4600S…11.11.B~11.15.G※1
	AX3800S…11.6~11.14.R※1
	AX3660S…12.0.A~12.1.J ※ 1
	AX3650S…11.5~11.14.R※1
	AX3640S…10.8~11.14.R
	AX3630S…10.8~11.11.E
	AX2500S…3.1.A~4.15※2
	AX2400S…10.8~11.7.N
	AX2200S…2.4~2.10
	AX2100S…2.6~2.12
	AX12508…2.2~2.10
	AX1240S…2.1~2.10

※1 AX4600S/AX3800S/AX3660S/AX3650S のスタック構成時は未サポートです。

※2 AX2500S(スタック構成時)は Ver.4.7 以降がサポート対象です。Ver.4.6 以前のス タック構成時は未サポートです。

表 1-2 ソフトウェア更新サーバ側環境

Г

推奨 OS	32bit版Windows 7 Professional (x86) SP なし, SP1
₩1	32bit 版 Windows 7 Enterprise(x86) SP なし, SP1
	32bit 版 Windows 7 Ultimate (x86) SP なし, SP1
	32bit版Windows 8.1 Pro(x86)SPなし
	32bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x86) SP なし
	32bit 版 Windows 10 Pro (x86) Version 1809
	64bit 版 Windows Server 2008 R2 Standard (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows Server 2012 R2 Standard (x64) SP なし
	64bit版 Windows 7 Professional (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows 7 Enterprise (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows 7 Ultimate (x64) SP なし, SP1
	64bit 版 Windows 8.1 Pro (x64) SP なし
	64bit 版 Windows 8.1 Enterprise (x64) SP なし
	64bit 版 Windows 10 Pro(x64) Version 1809
CPU	インテル Core 2 Duo 以上
メモリ	2GB 以上
HDD	1.9GB 以上
Java	JRE 8※2
実行環境	Oracle JDK 11(LTS)※2

※1 Linux 等推奨環境以外でも動作します(動作保証外です)

※2 動作確認済みの Java 実行環境は以下になります。

• JRE 8 Update 241

• JDK 11.0.2~11.0.6

上記より新しいアップデートリリースについては動作保証外になります。

1.4 注意事項

ソフトウェア更新ツールを利用する上での注意事項を以下に示します。

(1) ファイルパスの最大長

本ツールで扱うファイルについて、そのファイルパスの最大長は、本ツールを 利用するオペレーティングシステムで決まります。そのため、オペレーティン グシステムがサポートしているファイルパスの最大長を越えるようなファイル を指定しないでください。

(2) 冗長構成装置に対するソフトウェア更新での通信断

本ツールから冗長構成装置のソフトウェアを更新する場合,運用系のソフトウ ェア更新後に自動的に系交替が発生しますが,系交替後の新運用系で障害が発 生すると,旧運用系のソフトウェア更新後の装置再起動が完了するまで通信断 が発生する可能性があります。

(3) 装置情報ファイル

装置情報ファイルは AX-Networker's-Utility の他のツールと内容が異なるため, 共用できません。ツール毎に装置情報ファイルの作成および保存を行うように してください。

(4) AX1240S Ver.2.4 より前のバージョンで利用する場合の注意

AX1240S Ver.2.4 より前のバージョン間(例: Ver.2.2→Ver.2.3)でソフトウェア更 新を行う場合,以下のエラーメッセージが出力されることがあります。

[Can't update software. [Hardware rev.x]]

本メッセージが出力された場合,一度 Ver.2.4 以上のソフトウェアに更新し,その後,手動で Ver.2.4 より前のソフトウェアへバージョンダウンする必要があります。詳細については,装置のアップデートガイドをご確認ください。

(5) ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに AX2500S および AX2500SE のソフトウェアファイルを混在させる場合の注意

装置情報テーブルの[更新バージョン]列にAX2500SおよびAX2500SE両方用の ソフトウェアファイルのバージョンが表示されます。[更新バージョン]列でソ フトウェア更新対象装置用に正しいバージョンを選択してください。

2. 準備

この章では,ソフトウェア更新ツールを実行するために必要な事前準備につい て説明します。

2.1 ソフトウェア更新ツールのインストール

2.2 装置新ソフトウェアをソフトウェア更新サーバに配置 する

2.3 装置の設定を行う

2.1 ソフトウェア更新ツールのインストール

(1) インストール

AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド(インストール編)を参照し, AX-Networker's-Utility (ソフトウェア更新ツール)をソフトウェア更新サーバ ヘインストールしてください。

(2) 起動確認

インストールが完了した後,ツールの起動確認を行います。ツールを起動する には,以下の操作を行ってください。

エクスプローラから以下のファイル(※1)を右クリックし,表示されたポップ アップメニューから[管理者として実行]を選択する。

 $\divideontimes1\cdots<\!TARGETDIR\!>\!\!\$SoftwareUpdater\$SoftwareUpdater.bat$

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

ツールを起動すると、以下の画面が表示されます。

図 2-1 ツール起動時の画面

▲ ソフトウェア更新ツール - (新規)							
ファイル(E) グループ(G) 装置(N) 実行(E) 設定(S) ヘルプ(H)							
装置一覧	グループ:	処理方式: シリアル実行	•				
	装置情報						
	IPアドレス	装置名 場所	運用バージョン	更新バージョン	ステータス		
				運用バージ	にない 「実行」		
日付時刻	197862	Nortz-25					
2014/01/09 09:40:49.602		アプリケーションが起動	しました。				

アプリケーションが起動した旨のログメッセージが表示されることを確認して ください。

ツールの起動を確認した後,[ファイル]-[終了]メニューを選択して,一旦ツー ルを終了してください。

2.2 装置新ソフトウェアをソフトウェア更新サーバに配置する

ソフトウェア更新ツールのインストールと,ツールの起動確認を行ったら,入 手した装置の新しいソフトウェアファイルの一式を,ソフトウェア更新サーバ 上の任意のディレクトリに配置します。なお,他のマシン上にあるソフトウェ アファイル格納先ディレクトリを,ソフトウェア更新サーバ上からネットワー クドライブを経由して参照できる場合は,本手順は省略できます。

ここでは, C:¥software-files ディレクトリを作成し, ソフトウェアファイルを配 置しています。

COCマレ SoftwareUpdater > software-files マ 4 Software-filesの検索 タ								
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツール(I) ヘルプ(出)								
整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込む 新しいフォルダー 問目					- 🗌 🔞			
🐌 AX-Networker's-Utility	*	名前	更新日時	種類	サイズ			
BackupRecoveryTool		AX24L21107F-220.img.gz	2013/07/31 10:29	GZ ファイル	18,861 KB			
UCertificateTool		AX36L3S1111A-24.img.gz	2013/07/31 10:26	GZ ファイル	23,135 KB			
🐌 Common	_	AX36L31111A-24.img.gz	2013/07/31 10:28	GZ ファイル	21,323 KB			
ConfigCollector	=	AX63S1109E-56.img.gz	2013/07/31 10:24	GZ ファイル	37,570 KB			
EnergySavingTool		AX1240L20204A-48.bin	2012/09/19 13:24	BIN ファイル	6,208 KB			
FilterTool		AX1250L20204A-48.bin	2012/09/19 14:46	BIN ファイル	7,349 KB			
LoopDetectionViewer		AX2230L20204A-48.bin	2012/09/19 11:48	BIN ファイル	6,139 KB			
ON-API		AX2530L20305A-59.bin	2013/07/16 12:11	BIN ファイル	8,930 KB			
SoftwareUpdater								
🌗 logs								
) software-files								
🕌 table-log	-							
8 個の項目								

図 2-2 配置したソフトウェアファイル

[注意事項]

ソフトウェアファイルのファイル名や、ファイル圧縮形式は変更することはできません。ソフト ウェアファイルのファイル名と圧縮形式は、以下に従っている必要があります。※1

ファイル名:

AX6700S シリーズ, AX6600S シリーズ, AX6300S シリーズの場合

AX63S[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号]. ing. gz

AX4600S シリーズの場合

AX46L3C[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号]. ing. gz

AX3800S シリーズ, AX3650S シリーズの場合

AX36L3S[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号]. img. gz AX3660S シリーズの場合

AX36L3M[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].img.gz

AX3640S シリーズ, AX3630S シリーズの場合

AX36L3[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号]. img. gz

AX2500S シリーズの場合

AX2530L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX2500SE シリーズの場合

AX2530EL2[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX2400S シリーズの場合

AX24L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン]{リビジョン}-[ビルド番号].img.gz

AX2200S シリーズの場合

AX2230L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号].bin

AX2100S シリーズの場合

AX2130L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号].bin AX1240S シリーズの場合

AX1240L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号]. bin AX1250S シリーズの場合

AX1250L2[メジャーバージョン][マイナーバージョン] {リビジョン}-[ビルド番号].bin

メジャーバージョン・・・2桁の整数

マイナーバージョン・・・2桁の整数

リビジョン(オプション)・・・AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの装置の場合は 1~3 桁のアルファベット(1~2 桁目は大文字, 3 桁目は小文字), そ

の他の装置の場合は1~2桁の大文字のアルファベット

ビルド番号・・・AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの装置の場合は 1~4 桁,その他の装置の場合は 1~6桁の整数(ビルド番号が 1~9の場合のみ,前 に 0 が付きます…例:09)

ファイル圧縮形式:gzip形式(AX6700S/AX6600S/AX6300S/AX4600S/AX3800S/AX3600S/ AX2400S シリーズの場合) 非圧縮形式(AX2500S/AX2200S/AX2100S/AX1250S/AX1240S シリーズの 場合)

※1 ファイル名が上記の形式に従っていない場合,ツールがソフトウェアファイルを正しく認識できません。

2.3 装置の設定を行う

装置ソフトウェアを更新するにあたり、以下の準備、設定を行います。

(1) ソフトウェア更新サーバから更新対象装置へ, IPv4 ネットワ ーク的に到達可能とします

ソフトウェア更新サーバと更新対象装置が IP 通信できるように,ネットワーク 接続してください。そのためには,更新対象装置上に IPv4 アドレスを設定しま す。また,ソフトウェア更新サーバと更新対象装置の間にスイッチやルータ等 のネットワーク装置が存在する場合,ソフトウェア更新サーバと更新対象装置 の間で通信可能なように,それらのネットワーク装置に対してルーティング設 定を行います。

(2) 更新対象装置のコンフィグレーションを保存またはバックア ップします

必要に応じて更新対象装置上で未保存のコンフィグレーションを保存します。 または、更新対象装置のコンフィグレーションをバックアップします。

更新対象装置上に未保存のコンフィグレーションが存在したまま,ソフトウェ ア更新を実行した場合,そのコンフィグレーション内容は失われますので,ご 注意ください。

(3) 更新対象装置でソフトウェア更新機能が利用できるように, netconf 機能を有効にします

続いて,装置がソフトウェア更新ツールから要求を受け付けられるよう,装置 側の設定を行います。装置を起動し,装置にログイン後,装置の CLI から次の コマンドを入力します。netconf 機能に関するコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド(インストール編)の「5.付録」を ご確認ください。

>enable

configure

!(config)# netconf

!(config-netconf)# top

!(config)# save

(config)# exit

(4) 更新対象装置でソフトウェア更新機能用のユーザを登録しま す

netconf 機能を有効にした後,装置がソフトウェア更新処理を実行できるように, 装置にソフトウェア更新機能用のユーザを登録します。装置を起動し,装置に ログイン後,装置の CLI から次のコマンドを入力します。※1 ソフトウェア更新機能用のユーザ登録のコマンドの詳細については AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド(インストール編)の「5.付録」を ご確認ください。

>enable	…装置管理者モードに移行します			
# set software-update user user001	…登録するユーザの名前※2を入力します			
	(ここでは user001 です)			
New password : xxxxxxxx	…パスワード※3 を入力します			
Retype new password : xxxxxxx	…確認のためパスワードを再入力します			
# commit software-update user	…登録したユーザを保存します			
Commit on-api software-update user data. Are you sure? (y/n):y				

#

※1…装置が冗長構成を取っている場合,運用系でコマンドを実行してください。
※2…ユーザ名は6~16文字の半角英数字で指定してください。
※3…パスワードは6~16文字の半角英数字で指定してください。

3. ソフトウェアの更新

この章では、ソフトウェア更新ツールの操作方法を、一連の流れに沿って説明 します。

3.1 装置を登録する

- 3.2 装置の運用バージョン情報を取得する
- 3.3 装置のソフトウェアを更新する

3.1 装置を登録する

ソフトウェア更新ツールから装置に対してソフトウェア更新を行うには,まず 始めに,ツール上で装置の登録を行います。装置の登録方法には,以下の3通 りの方法があります。

方法1:GUIから登録する(「<u>3.1.1 GUIから登録する</u>」参照)

- 方法2:装置情報ファイルから登録する(「<u>3.1.2 装置情報ファイルから登録</u> <u>する</u>」参照)
- 方法3:装置情報のインポート・エクスポートで登録する(「<u>3.1.3 装置情報</u> のインポート・エクスポート」参照)

ソフトウェア更新ツールを起動すると、ツール終了前に正常に読み込んだか保存を行った装置情報ファイルを自動的に読み込み、装置ツリー上に表示します。 なお、GUIからの操作はメニュー、メニューに設定されているキーボードショ ートカット(Ctrl+<u>キー</u>)、ボタンのいずれか任意の方法で行えます。

3.1.1 GUIから登録する

(1) グループを登録する

まず始めに,ツールを起動しグループの登録を行います。ツールの起動方法については,「<u>2.1 ソフトウェア更新ツールのインストール (2)起動確認</u>」を参照 してください。

グループを登録するには,装置一覧ツリー上で[装置一覧]ノードを選択して,[グ ループ]-[追加]メニューを選択し, [グループ情報設定]画面を開きます。

図 3-1 グループ登録(1)

	ア更新ツール - () Bull - ゴ(の) はま	新規)	(c)			
ファイル(F) (装置一覧	フルーフ(G) 装置 追加(1) C 編集(2) C					
	削除(3) (Ctrl+3 Pアドレス	装置名 場所	運用バージョン	更新バージョン	ステータス
					(1)10-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1	·/、雨/24) (宝/
					12000	23.24以1寸 天11
• •						

[グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名(1~32文字)を入力し、[OK] ボタンを押下します。

[注意事項]

グループ名として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグ やタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

図 3-2 グループ登録(2)

②グループ名を入力します。

「 ソフトウェア更新ツール - グループ情報	
グループ情報を設定します。グループ名を入力	」し,〔OK〕ボタンを押してくださ(N。
ジループ作 ^{4 Rig} 定 *グループ名	
	OK キャンセル
	③OK ボタンを押下します。

図 3-3 グループ登録(3)

● ④装置一覧ツリー上にグループが追加されます。 : ア更新ツール - (新規) ファイル(E) グループ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u>) 実行(<u>E</u>) 設定(<u>S</u>) ヘルプ(<u>H</u>) 装置一覧 グループ: グループA 処理方式: シリアル実行 👻 1A 装置情報 IPアドレス 装置名 場所 運用バージョン 更新バージョン ステータス 運用バージョン取得 実行 日付 時刻 IPアドレス メッセージ アプリケーションが起動しました。 グループを追加しました。 2014/01/09 09:40:49.602 2014/01/09 09:45:00.263

(2) グループ名を変更する/登録したグループを削除する

グループ名の変更を行うには、装置一覧ツリー上でグループを選択して、[グル ープ]-[編集]メニューを選択し、[グループ情報設定]画面を開きます。 [グループ情報設定]画面を開いたら、グループ名(1~32 文字)を入力し、[OK] ボタンを押下します。

グループの削除を行うには,装置一覧ツリー上でグループを選択して,[グループ]-[削除]メニューを選択します。

(3) 装置を登録する

グループを登録した後,グループに装置を登録します。 装置を登録するには,装置一覧ツリー上でグループを選択して,[装置]-[追加] メニューを選択し,[装置情報設定]画面を開きます。

図 3-4 装置登録(1)

ファイル(E) 装置一覧	グル- プ(<u>G)</u> [装置(A	N) 実行(E) 追加(<u>4</u>) Ct 編集(<u>5</u>) Ct	段定(<u>S)</u> へ rl+4 rl+5	ルプ(<u>H</u>) 処理方式:	「シリアル実行 ↓」		
		削除(<u>6</u>) Ct	rl+6 ₹∄	署名 場所	運用バージョン	更新パージョン	ステータス

①グループを選択します。 ②[装置]-[追加]メニューを選択します。

[装置情報設定]画面を開いたら,装置名(0~64文字),IPアドレス(10ドット記法のIPv4アドレス),場所(0~64文字),アカウント(6~16文字の半角英数字…「2.3 装置の設定を行う(4)更新対象装置でソフトウェア更新機能用のユーザを登録します」で入力したユーザ名),パスワード(6~16文字の半角英数字…「2.3 装置の設定を行う(4)更新対象装置でソフトウェア更新機能用のユーザを登録します」で入力したパスワード)を入力して,[OK]ボタンを押下します。なお,装置名と場所は入力を省略することができます。

[注意事項]

装置名および場所として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。 HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があ ります。 ③基本設定欄、ユーザ情報設定欄を入力します。 ※装置名と場所は入力を省略することができます。

図 3-5 装置登録(2)

43-5 装直			~
ソフトウェア	更新ツール - 装置情報設定		~
装置情報を設う を押してください	定します。[基本設定][ユーザ情報融 。	定]に情報を入力し,〔0 K〕ボ	ねン
「基本設定──			
*グループ	グループA		-
装置名			
*IPアドレス			
場所			
┌ユーザ情報設)	Ê		
*アカウント			
*パスワード			
		OK キャンセル	

④OK ボタンを押下します。

図 3-6 装置登録(3)

⑤装置一覧ツリーと装置情報テーブルに装置が追加されます。

 ▲ ソフトウェ ファイル(E) 装置一覧 ロー ● グループ/ 192 	7更新ツール - (第 ループ(<u>G</u>) 装置(A	f規) <u>N</u>)実行(E)設定 ガループ:ガルーク 「装置情報	<u>S) ヘルプ(日)</u> A 処理方式: ジリア	ル実行 🔻		
		192.168.0.1	★2回-10 →3671 法置1 Center IF	メ重用3/1ージョン 	更和小一ジョン	AJ -9A
A T					運用バー	ジョン取得 実行
日何 2014/01/00	8守※川 00.45-59.970	エアアドレス	メッセージ	±1 %		
2014/01/09	09:46:00.526		パループを追加しました。	6KU/C0		
2014/01/09	09:47:15.472	192.168.0.1	装置を追加しました。	·		
2014/01/09	109:47:15.472	192.168.0.1	装置を追加しました。			

(4) 装置情報を変更する/登録した装置を削除する

装置情報の変更を行うには,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[装置]-[編集] メニューを選択し,[装置情報設定]画面を開きます。[装置情報設定]画面を開い たら,必要な情報を入力し,[OK]ボタンを押下します。

装置の削除を行うには,装置一覧ツリー上で装置を選択して,[装置]-[削除]メ ニューを選択します。

3.1.2 装置情報ファイルから登録する

グループや装置は、グループや装置の情報を定義した装置情報ファイルを、ソ フトウェア更新ツールから読み込んで登録することもできます。

(1) 装置情報ファイル

装置情報ファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。テキス トエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成できます。装 置情報ファイルの例と、装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージ を下図に示します。

[注意事項]

装置情報ファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合は,各フィールドの値(例:グループ名や装置名)に「"」(ダブルクォート)や「,」 (カンマ)を使用しないでください。

グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用す ると、ツールからファイルを読み込んだ際に、グループ名や装置名等が正しく 表示されない、または、ファイルの読み込みに失敗する場合があります。

各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。 HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があ ります。
グループ名,チェックボックスのチェック状態,IPアドレス,装置名,場所,アカウント,パスワード グループ A,true,192.168.0.1,装置 1,Center1F,user001,pass001 グループ A,true,192.168.0.2,装置 2,Center1F,user001,pass001 グループ A,true,192.168.0.3,,,user001,pass001 グループ A,false,192.168.0.4,装置 4,Center1F,user001,pass001 グループ B,true,192.168.1.1,装置 1,Center2F,user001,pass001 グループ B,true,192.168.1.2,装置 2,Center2F,user001,pass001 グループ C,,,,,, グループ D,true,192.168.3.1,装置 1,North1F,user002,pass002

#	А	В	С	D	Е	F	G
1	グループ名	チェックボックス のチェック状態	IP アドレス	装置名	場所	アカウント	パスワード
2	グループ A	true	192.168.0.1	装置1	Center1F	user001	pass001
3	グループ A	true	192.168.0.2	装置 2	Center1F	user001	pass001
4	グループ A	true	192.168.0.3			user001	pass001
5	グループ A	false	192.168.0.4	装置 4	Center1F	user001	pass001
6	グループ B	true	192.168.1.1	装置1	Center2F	user001	pass001
7	グループ B	true	192.168.1.2	装置 2	Center2F	user001	pass001
8	グループC						
9	グループ D	true	192.168.3.1	装置1	North1F	user002	pass002

表 3-1 装置情報ファイルをテーブル形式で表示したイメージ

・装置情報ファイルを作成する場合,1行目にはヘッダ情報の記述を行い,2 行目以降に各装置の装置情報を記述します。※1

・A列: グループ名は1~32 文字で設定可能です。

・B列:チェックボックスのチェック状態は true または false で設定可能です。

- ・C列: IP アドレスは 10進ドット記法の IPv4 アドレスで設定可能です。
- ・D列:装置名は0~64文字で設定可能です。
- ・E列:場所は0~64文字で設定可能です。
- ・F列:アカウントは6~16文字の半角英数字で設定可能です。
- ・G列:パスワードは6~16文字の半角英数字で設定可能です。
- •4 行目の D 列と E 列には,装置名と場所の指定がありませんが,このように, 装置名と場所は指定を省略することができます(その他の項目は指定が必須 であり,省略することはできません)。
- ・また,8行目はA列のグループ名のみ指定されていますが,このような装置 情報は、「装置情報のエントリがないグループ」という特別な意味を持ちま す。※2
- ・各列の指定値が不正(範囲外)な場合,装置情報ファイル読み込み時にエラー となります。

※11行目(ヘッダ情報)は省略できませんが、ヘッダ情報の記述内容は任意です。(上図の例と同様の記述にする必要はありません。)

※2 グループ名のみ指定した装置情報を、同一のグループ名で複数件記述した場合、2 件目以降は無視されます。

(2) 作成した装置情報ファイルを読み込む

作成したファイルをツールに読み込むには,[ファイル]-[開く]メニューを選択 し,ファイル選択画面を開きます。 図 3-8 装置情報ファイルの読み込み(1)

①[ファイル]-[開く]メニューを選択します。

실 ソフトウェア更新ツール -	(新規)				
[ファイル(E)] グループ(<u>G</u>) 装	置(<u>N</u>)実行(<u>)</u> 設定(<u>S</u>)	ヘレプ(<u>H</u>)			
新規作成(<u>N</u>)	Ctrl+N	処理方式: シリアル実行	•		
開<(<u>O</u>)	Ctrl+0	-			
上書き保存(<u>S</u>)	Ctrl+S ドレス	装置名 場所	運用バージョン	更新バージョン	ステータス
名前を付けて保存(<u>W</u>)	Ctrl+W				
共通ノオーマット(E) 物マ(O)	Chrilu D				
*≈1(⊻)	Ctri+Q				
				運用バージ	ない取得 実行
日付時刻	IPアドレス	メッセージ			
2014/01/09 09:47:55.155		アプリケーションが起動	しました。		

ファイル選択画面を開いたら,作成した装置情報ファイルを選択し,[開く]ボ タンを押下します。

図 3-9 装置情報ファイルの読み込み(2)

_ ▲ 開く		
ファイルの場所(1)	: 🚨 💷 – לאו דיר לא (C.) 🔹 🔹 🔊 💬 🖽 -	
最近使った項 目	Alaxala PerfLogs Program Files Windows]
デスクトップ	□ ユーザー ③ 装置情報.csv	
71 F#1X2F	②作成したファイルを選択します。	
אין בארב ארב	③[開く]ボタンを押下します。 ●	,
<u>و</u> -CH64	ファイル名(N): 装置情報csv 開((0) ファイルのタイプ(D): 装置情報ファイル(*csv) 取消]

	:¥装置情報.csv (<u>N)</u> 実行(<u>E</u>) 設定(<u>S</u>)	ヘルプ(日)			
	グループ: グループA 装置情報 192,168.0.1 192,168.0.2 192,168.0.3 192,168.0.4	处理方式: ジリア/	東行 ↓	<u>東京パーンパー</u> 、	75-07
A.T				運用バージ	海ン取得 実行
日付 時刻 2014/01/09 09:47:55.155 2014/01/09 09:48:23.934	IPアドレス 	メッセージ アブリケーションが起動しま ファイルの読み込みが正さ	Eした。 常終了しました。		

3.1.3 装置情報のインポート・エクスポート

本ツールに登録したグループや装置の情報は、共通フォーマットファイルを介して、 AX-Networker's-Utilityの他ツールと相互にエクスポート・インポートすることがで きます。つまり、本ツールに登録したグループや装置の情報をAX-Networker's-Utility の他ツール用にエクスポート、および AX-Networker's-Utility の他ツールへ登録した グループや装置の情報を本ツールへインポートできます。

(1) 共通フォーマットファイル

共通フォーマットファイルは、本ツールへ登録した装置情報を AX-Networker's-Utilityの他ツール用にエクスポート、またはAX-Networker's-Utility の他ツールへ登録した装置情報を本ツールへインポートするためのファイルです。 [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択することで、共通 フォーマットファイル形式で装置情報をエクスポートし、[ファイル]-[共通フォーマ ット]-[インポート...]メニューを選択することで、共通フォーマットファイル形式で 装置情報をインポートすることができます。 共通フォーマットファイルのフォーマットは CSV 形式のテキストファイルです。 従って、テキストエディタやスプレッドシートアプリケーションを利用して作成す ることもできますが、ツールの共通フォーマットファイルのエクスポートで作成す ることをおすすめします。エクスポート後、必要に応じて、エクスポートした共通 フォーマットファイルをテキストエディタやスプレッドシートアプリケーション で修正することが可能です。

AX-Networker's-Utilityの他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイルか ら本ツールへのインポートを行う際,共通フォーマットファイルに本ツールでの必 須指定項目が指定されていない場合には,その指定されていない項目をテキストエ ディタやスプレッドシートアプリケーションで追加してからインポートを行って ください。

共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値を次表に示します。

項目	指定値
グループ名	グループ名を 1~32 文字で指定します。 必須指定項目です。
チェックボックスのチェッ ク状態	チェックボックスのチェック状態を true(選択 状態)または false(非選択状態)で指定します。 任意指定項目です。 省略された場合, false が指定されたものと解釈 して動作します。
IPアドレス	IP アドレスを 10 進ドット記法の IPv4 アドレスで 指定します。 必須指定項目です。
装置名	装置名を 0~64 文字で指定します。 任意指定項目です。
場所	場所を 0~64 文字で指定します。 任意指定項目です。
ソフトウェア更新機能アカ ウント	装置のソフトウェア更新機能用のアカウント を6~16文字の半角英数字で指定します。 必須指定項目です。
ソフトウェア更新機能パス ワード	装置のソフトウェア更新機能用のパスワード を 6~16 文字の半角英数字で指定します。 必須指定項目です。
Web 認証画面入れ替え機能 アカウント	本ツールでは利用しません。
Web 認証画面入れ替え機能	本ツールでは利用しません。

表 3-2 共通フォーマットファイルの項目と本ツールでの指定値

パスワード	
メール通知制限	本ツールでは利用しません。
装置モデル	本ツールでは利用しません。
省電力モード	本ツールでは利用しません。
電力制御設定	本ツールでは利用しません。
NIF ボード情報	本ツールでは利用しません。
NIF ボード LED 動作	本ツールでは利用しません。
スイッチングユニット設定	本ツールでは利用しません。
スイッチングユニットの枚 数設定	本ツールでは利用しません。
待機系スイッチングユニッ トの給電設定	本ツールでは利用しません。
スイッチ種別	本ツールでは利用しません。
アカウント更新時刻	本ツールでは利用しません。
Web 認証証明書有効期限	本ツールでは利用しません。
Web 認証証明書確認時刻	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択 した証明書のファイルパス	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択 した秘密鍵のファイルパス	本ツールでは利用しません。
前回アップロード時に選択 した中間 CA 証明書のファ イルパス	本ツールでは利用しません。

[注意事項]

- ・表 3-2 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定値で,[指定値]列が「本 ツールでは利用しません。」になっている項目も, CSV フォーマットとしての列 は必要ですので省略しないでください。
- AX-Networker's-Utilityの他ツールでエクスポートした共通フォーマットファイル をインポートする際,表 3-2 共通フォーマットファイルの項目と本ツールの指定 値で,[指定値]列に「必須指定項目です。」がある項目は、インポートの前にエ ディタやスプレッドシートアプリケーションを利用し、インポート対象の共通フ ォーマットファイルへその項目の指定値を追加してください。
- ・共通フォーマットファイルをスプレッドシートアプリケーションで編集する場合
 は、各フィールドの値(例:グループ名や装置名)に「"」(ダブルクォート)
 や「、」(カンマ)を使用しないでください。

グループ名や装置名等に「"」(ダブルクォート)や「,」(カンマ)を使用する と、ツールから共通フォーマットファイルをインポートした際に、グループ名や 装置名等が正しく表示されない、または、共通フォーマットファイルのインポー トに失敗する場合があります。

・各フィールドの値として HTML タグやタブ文字を使用しないでください。HTML タグやタブ文字を使用すると、ツール上で正しく表示されない場合があります。

(2) 装置情報を共通フォーマットファイルヘエクスポートする

ツールへ登録した装置情報を共通フォーマットファイルへエクスポートするには, [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択し,ファイル選択 画面を開きます。

図 3-11 装置情報のエクスポート(1)

新規作成 開く(<u>O</u>)	ί(<u>Ν</u>)	Ctrl+N Ctrl+O	: グループA 帰	処理	方式: 躗	アル実行 🔻		
上書き係 名前を付 共通フォ 終了(Q)	存(<u>S)</u> けて保存(<u>W</u>) ・ーマット(<u>E</u>)	Ctrl+S Ctrl+W Ctrl+Q	NF Pドレス 装置 .168.0.1 装置 インポート エクスポー	置名 ≧1 <u>`(0</u>) - ト(⊻)	場所 Center 1F Ctrl+0 Ctrl+Y	運用バージョン	更新パージョン	25-92
≐ 〕 グループ ● 192	D .168.3.1(装置1)							
							(運用バー)	

→① [ファイル]-[共通フォーマット]-[エクスポート...]メニューを選択します。

ファイル選択画面が表示されたら,エクスポート先の共通フォーマットファイルの 名前を指定し, 〔保存〕ボタンを押します。

図 3-12 装置情報のエクスポート(2)

劉 保存	×
保存:	🚰 ם-און דירגל (C) 🔹 🌶 📰 ד
最近使った項 目	Alaxala PerfLogs Program Files Windows
デスクトップ	 ▶ ユーザー
الرائد بي المراجع من مراجع المراجع من مراجع من مراجع م مراجع مراجع م	②エクスポート先ファイルを指定します。
ען -א-בשעב	③[保存]ボタンを押下し
く ネットワーク	ファイル名(U): 装置情報エクスポートcsv/ 保存(S) ファイルのタイプ(I): インポート/エクスポートファイル(*csv) √ 現(用

装置情報のエクスポートが成功すると、エクスポート成功のメッセージが表示され ます。

— • • •		
図 3-13	装置情報のエクスボート(3)	

▲ ソフトウェア ファイル(E) グ 柱田一覧	7更新ツール - C: ループ(<u>G</u>) 装置	¥装置情報.csv (<u>N</u>) 実行(<u>E</u>) 設定(<u>S</u>	§) ヘルプ(円))			
● ● ● クループA		▶ グループ: グループ/ >+===++==	9 処:	理方式:「シリア	ル実行 🔻		
• 192.10	58.0.1(装置1) sen n/3主要n)	装置情報	壮里々	14556	運用バーパート	再転じたがらい	7
• 192.10	38.0.3(装置3)	192 168.0 1	被退位	Pmrn Center 1E	通用ハーション	史和ハーション	AJ -3A
• 192.16	68.0.4(装置4)	192.168.0.2	装置2	Center 1F			
📄 🕛 グループB		192.168.0.3	装置3	Center 1F			
• 192.10	58.1.1(装置1)	192.168.0.4	装置4	Center 1F			
						(運用バー:	ジョン取得
	時期	IP7/SL2	durt7	_=="			
2014/01/09	09:47:55 155		アプリカ	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	ました。		
2014/01/00	00-10-22-024		777	の読み込みが正	業線アしました。		
2014/01/09	09:49:50.732		計置获	「転をエクスポート	しました。		
	④「装置	置情報をエク	<i>ヽ</i> スポー	トしまし	<u>、た。」が</u>	表示されます	t

(3) 装置情報を共通フォーマットファイルからインポートする

共通フォーマットファイルから装置情報をインポートするには,[ファイル]-[共通フ ォーマット]-[インポート...]メニューを選択し,ファイル選択画面を開きます。

図 3-14	装置情報のインポ-	ート	(1)
--------	-----------	----	-----

ファイル(<u>E)</u> ? 新規作成	ブループ(<u>G</u>) 装置 (<u>N</u>)	髶(<u>N</u>) 実行 Ctrl+N	(E) 設定(<u>S</u>) へ) : 処理	レプ(<u>日)</u> 方式: シリアル実行	-		
開く(<u>O</u>). 上書き保 名前を付	 存(<u>S)</u> けて保存(W)	Ctrl+O Ctrl+S Ctrl+W	服 Pドレス 装置	名場所	運用バージョン	更新バージョン	ステータス
共通フォ 終了(<u>Q</u>)	-マット(<u>E</u>)	Ctrl+Q	インポート(エクスポー	<u>0</u>) Ctrl+0 ト(<u>Y</u>) Ctrl+Y			
					_		
						 運用バージ	タン取得 実行
							as with star
-	時刻	_ IP7*		メッセージ			

ファイル選択画面が表示されたら,インポート元の共通フォーマットファイルの名 前を指定し, 〔開く〕ボタンを押します。

図 3-15 装置情報のインポート(2)

開<	A TATL & M	X
ファイルの場所(1):	🚢 ローカル ディスク (C:) 🔹 🍺 📂 🖽・	
最近使った項 目	Alaxala PerfLogs Program Files Windows	
デスクトップ	 □ ユーザー ■ 装置情報インボート.csv 	
۲۲ ۲۴ ۲۶	②インポート元ファイルを指定します。	
אין דארב ארב	③[開く]ボタンを押下し	(ます。
(ネットワーク	ファイル名(辺): 装置情報・(ンポートcsv ファイルのタイプ(エ): インポート/エクスポートファイル(* csv)	駅(<u>0</u>) 取消

装置情報のインポートが成功すると,装置一覧ツリーが更新され,インポート成功 のメッセージが表示されます。

図 3-16 装置情報のインポート(3)

Yフトウェ	(ア更新ツール - (新	④インポー ^(規)	・トした著	走置情報	で装置一覧	シリーが更	新されます。 <u>- □ × </u>
ファイル(E) 装置一覧	(ループ(G) 装置(A	 N) 実行(E) 設定(グループ: グループ: ジループ: 	(<u>S)</u> ヘレプ(日 フA 処) 理方式: シリフ	別実行 ▼		
	1069.1(装置1) 1680.2(装置2) 1680.3(装置3) 1680.4(装置4) B 1681.1(装置1) 1681.2(装置2) C D 1.683.1(装置1)	IP7 F LZ 192.168.0.1 192.168.0.2 192.168.0.3 192.168.0.4	装置名 装置1 装置2 装置3 装置4	場所 Center IF Center IF Center IF Center IF	運用バージョン 	更新バージョン 	λ ,
						運用バー	ジョン取得 実行
日付	時刻	IPアドレス	メッセ	ージ			
2014/01/09	09:51:11.868		ション ション	ションホル当め 皆報をインボートし	ತರದೆ. ತರಿದೆಂ		
⑤「装置情報をインポートしました。」が表示されます。							

3.2 装置の運用バージョン情報を取得する

「<u>3.1 装置を登録する」</u>でツールに登録した装置に対してソフトウェア更新を行 うには、事前に、対象装置の現在のソフトウェアバージョン(運用バージョン) を取得しておく必要があります。本節では、ツール上に登録した装置に対して、 運用バージョン取得を行う方法について説明します。

図 3-17 運用バージョン情報取得(1)

 運用バージョン取得を行う装置をチェックします。テーブルヘッダのチェックボック スをチェックすると、グループ内のすべての装置がチェック状態になります。

▲ ソフトウェア更新ツール - C:¥装置情報.csv						
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>) 装置(ファイル(E) グループ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u>) 軽行(E) 設定(<u>S</u>) ヘルプ(<u>H</u>)					
装置一覧 □	グループ: グループ 	A 処理	■方式: シリア	ル実行 ▼		
● 192.168.0.2(装置2)		装置名	場所	連用バージョン	更新バージョン	ステータス
● 192.100.0.3(装置3)	192.168.0.1	<u>装置</u>] 社里1	Center 1F			
□ □ · □ · □ · □ · □ · □ · □ · □ · □ · □	102.100.0.2		Center 1F			
● 192.168.1.1(装置1)	192.168.0.4	装置4	Center 1F			
	②[運用]バージ	ョン取行	导]ボタンを	を押下しまう 	
日付時刻	IPアドレス	メッセー	ジ			
2014/01/09 09:51:56.311		アプリケ	ーションが起動し	ました。		
2014/01/09 09:51:56.344		771/16	D読み込みが正	常終了しました。		

[運用バージョン取得確認]ダイアログが表示されたら、[はい]ボタンを押下します。

③[はい]ボタンを押下します。



図 3-19 運用バージョン情報取得(3)

邎 ソフトウェア更新ツール - C:¥					
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>) 装置(<u>N</u>					
は置一覧 「リーブA 「リーブA 「リューさん。 「リューきん。0.1(装置1) 「リュ168.0.2(装置2) 「リュ168.0.3(装置3) 「リュ168.0.4(装置4) サルーブB ヴルーブC ヴルーブC ヴルーブD	グルーブ: グルーブA 装置情報 ▼ IPアドレス 装置名 ▼ 192.1680.01 装置1 ▼ 192.1680.2 装置2 ▼ 192.1680.3 装置3 ▼ 192.1680.4 装置4	処理方式: ジリアル 場所 Center1F 0: Center1F 0: Center1F 0: Center1F 0: Center1F 0:	【行 S-L3A Ver. 11.9.A S-L3A Ver. 11.9.A S-L3A Ver. 11.9.A S-L3A Ver. 11.9.A S-L3A Ver. 11.9.A	更新バージョン	ステータス 運用バージョン取得終… 運用バージョン取得終… 運用バージョン取得終… 運用バージョン取得終…
				運用バージョ	ン取得 実行
日付時刻	IPアドレス メッ	セージ			
2014/01/09 11:14:55.169	192.168.0.3 運用	ヨバージョン取得を開始し	ます。		
2014/01/09 11:14:55.212	192.168.0.4 運用	ヨバージョン取得を開始し	ます。		
2014/01/09 11:14:56.242	192.168.0.2 運用	ヨバージョン取得が正常総	冬了しました。		
2014/01/09 11:14:56.263	192.168.0.3 運用	ヨバージョン取得が正常編	冬了しました。		
2014/01/09 11:14:56.269	192.168.0.4 運用	ヨバージョン取得が正常総	冬了しました。		E
2014/01/09 11:14:56.392	192.168.0.1 運用	ヨバージョン取得が正常総	冬了しました。		
2014/01/09 11:14:56.573	<i>グル</i>	ープ グループA に対する	運用バージョン取得が	終了しました。	-

④装置の運用バージョンが表示されます。

3.3 装置のソフトウェアを更新する

本節では,装置の運用バージョンを取得してから,実際にソフトウェア更新を 実施するまでの手順について説明します。

3.3.1 ソフトウェアファイルを指定する

まず始めに、「<u>2.2 装置新ソフトウェアをソフトウェア更新サーバに配置する</u>」 で配置したソフトウェアファイルの格納先ディレクトリを指定します。 [設 定]-[設定]メニューから、[ツール設定]画面を開きます。

図 3-20 ソフトウェアファイルの指定(1)

Symptotic Symptot Symptotic Symptotic Symptotic Symptotic Symptotic Symptot	ア更新ツール - C ブループ(G) 装置 A	::¥装置情報.csv (N) 実行(E 設定() グルーフ:) 装置情報	(S)) ヘルプ(H) 設定(E) Ctr	1+E [20]	アル実行 ▼		T T X
	108.0.1(装置1) 168.0.2(装置2) 168.0.3(装置3) 168.0.4(装置4) B C D	 ✓ IPアドレス ✓ 192.168.0.1 ✓ 192.168.0.2 ✓ 192.168.0.3 ✓ 192.168.0.4 	装置名 装置1 装置2 装置3 装置4	場所 Center 1F Center 1F Center 1F Center 1F	運用バージョン OS-L3A Ver. 11.9.A OS-L3A Ver. 11.9.A OS-L3A Ver. 11.9.A OS-L3A Ver. 11.9.A	更新バージョン	ステータス 運用バージョン取得終… 運用バージョン取得終… 運用バージョン取得終… 運用バージョン取得終…
	時刻	1P7ドレス	x9t-5	,		運用バー	ジョン取得 (実行)
日付 2014/01/09	時刻 1:14:55.169	IPアドレス 192.168.0.3	メッセーシ) ジョン取得を購	196します。	運用パー	ジョン取得 実行
日付 2014/01/09 2014/01/09	時刻 11:14:55.169 11:14:55.212	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4	メッセージ 連用バー 運用バー) ジョン取得を情 ジョン取得を情		(運用パー	ジョン取得 (実行)
日付 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09	8寺刻] 11:14:55:169 11:14:55:212 11:14:55:242	IP7ドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.4	メッセー3 遅用パー 運用パー 運用パー) ジョン取得を開 ジョン取得を開 ジョン取得が正	物台に走す。 物台に走す。 物台に走す。 「茶終了しました。	[運用パー	ジェン取得 実行
日付 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09	8寺気J 11:14:55.169 11:14:55.212 11:14:56.243 11:14:56.263	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.2 192.168.0.2	メッセー3 連用バー 運用バー 運用バー 運用バー) ジョン取得を開 ジョン取得を開 ジョン取得が正 ジョン取得が正	105します。 105します。 「茶終了しました。 「茶終了しました。	運用バー	ジョン取得 (実行)
日付 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09	時刻 11:14:55.169 11:14:55.212 11:14:55.242 11:14:56.269	IPアドレス 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.4 192.168.0.3 192.168.0.3 192.168.0.4	メッセー: 連用パー 運用パー 運用パー 運用パー 運用パー 運用パー	7 ジョン取得を開 ジョン取得を開 ジョン取得が正 ジョン取得が正 ジョン取得が正	数台します。 数台します。 (新谷子しました。) (新裕子しました。) (新裕子しました。)	運用バー	ジョン取得 (実行)
日付 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09 2014/01/09	B奇気川 11:14:55:169 11:14:55:212 11:14:55:221 11:14:56:263 11:14:56:269 11:14:56:392	РРКИХ 192.168.0.3 192.168.0.4 192.168.0.4 192.168.0.2 192.168.0.4 192.168.0.1	メッセー: 連用バー 運用バー 運用バー 運用バー 運用バー 運用バー 運用バー) ジョン取得を開 ジョン取得を開 ジョン取得が正 ジョン取得が正 ジョン取得が正	勝台します。 勝台します。 常終了しました。 常終了しました。 常終了しました。 常終了しました。	(運用パー	ジョン取得 実行

①[設定]-[設定]メニューを選択します。

[ツール設定]画面を開いたら、ソフトウェアファイル格納先ディレクトリを指定し、[OK]ボタンを押下します。

図 3-21 ソフトウェアファイルの指定(2)

 ソフトウェア更新ツール - ツール設定
 ×

 ディレドリ
 ソフトウェアファイルの格納場所を指定します。ソフトウェアファイル格納先ディレクトリを入力し、(OK)ボタンを押してください。

 ソフトウェアファイル格納先ディレクトリ設定

 ソフトウェアファイル格納先ディレクトリ

 software-files

②ソフトウェアファイル格納先ディレクトリを指定します。

③[OK]ボタンを押下します。

以上の手順を実施すると、装置情報テーブルの「更新バージョン」列のプルダ ウンメニューから、ディレクトリに配置したソフトウェアファイルのバージョ ンを選択できるようになります。「更新バージョン」カラムの、対象装置のセ ルをクリックすると、プルダウンメニューに、対象装置に対して更新可能なフ ァイルの一覧が表示されます※1。

※1 以下のソフトウェアファイルはフィルタリングされ,「更新バージョン」 カラムのプルダウンメニューには表示されません。

対象装置の機種と異なるソフトウェアファイル

・対象装置の運用バージョンよりも古いバージョンのソフトウェアファイル(ビルド番号によるフィルタリングは行われず,運用バージョンと同じバージョンのソフトウェアファイルは一覧に表示されます。)

図 3-22 ソフトウェアファイルの指定(3)

④ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに配置したソフトウ ェアファイルを,装置毎に選択できるようになります。

4

🛃 ソフトウェフ	ア更新ツール - С	:¥装置情報.csv							
ファイル(E) グ	パループ(<u>G</u>)装置	(N) 実行(E) 設定(S) ヘルプ(<u>H</u>)						
装置一覧 → 192.1 → 192	68.0.1(装置1) 68.0.2(装置2) 68.0.3(装置3) 68.0.4(装置4) ;	 グルーブ: グルーブ: グルーブ: グルーブ: 又置情報 ✓ 192.168.0.1 ✓ 192.168.0.3 ✓ 192.168.0.4 		式: <u>少</u> 場所 Center 1F Center 1F Center 1F Center 1F	アル実行 - 運用バージョン OS-L3A Ver. 1 OS-L3A Ver. 1 OS-L3A Ver. 1	更和 9.A 9.A OS- 9.A 9.A	析バージョン L3 Ver. 11.11	ステータス ◆ Astron 2-4 A(Build:24) 溜田バージョン 運用バージョン	↓ <mark>双得終…</mark> ↓ 双得終… ↓ 双得終… ↓ 双得終…
							 		実行
A T	n###11		1. kg. 25						
0011/01/00	u-f淡i]	102160.02	メッセーン		1141 + +				
2014/01/09	11:14:00.109	192.100.0.8	運用ハニン3	ノ 取行を開	以言します。 時41 ませ				
2014/01/09	11:14:00.212	192.108.0.4	運用ハニン3	ノ 取1手を開	防します。				
2014/01/09	11:14:00.242	192.108.0.2	温用ハニン3	ノ 取1等か止	(市称)」しました。				
2014/01/09	11:14:00.203	192.108.0.3	運用ハーン3	ノ 取1守か止	:市旅了しました。				
2014/01/09	11:14:55.259	192.108.0.4	連用ハージョ	ノ取得が止	:市旅子しました。				=
2014/01/09	11:14:56:392	192.168.0.1	連用ハージョ	ノ取得が止	市稔子しました。	Root Live a	71 +1 +		
2014/01/09	11:14:56.573		クループ クル	イフトに対	する運用ハージョン	4以待加於」	いまいた。		*
				-					

対象装置の機種と異なるソフトウェアファイル,対象装置の運用 バージョンよりも古いバージョンのソフトウェアファイルは,一 覧に表示されません。

ソフトウェア更新は,運用バージョンの取得と同様に,グループ単位に実施し ます。選択中のグループ(ここでの例ではグループA)内の,チェックを入れ ているすべての装置に対して更新バージョンを指定します。

図 3-23 ソフトウェアファイルの指定(4)

⑤選択中のグループ内の, <u>チェックを入れているすべての装置</u>に 対して更新バージョンを指定します。



3.3.2 ソフトウェア更新を実施する

「<u>3.3.1 ソフトウェアファイルを指定する</u>」まで実施すると、ツールは、装置に 対してソフトウェア更新が可能な状態となります。ソフトウェア更新を行うに は、処理方式を選択し、[実行]ボタンを押下します。

処理方式には、シリアル実行と、パラレル実行の2つがあります。シリアル実 行は、グループ内の装置に対して1台ずつソフトウェア更新を実施していくモ ードで、ソフトウェア更新を実施し、装置再起動後、装置が更新後のバージョ ンで正常に起動完了したことを確認してから、次の装置のソフトウェア更新を 行います。一方、パラレル実行は、グループ内の装置に対して、一斉にソフト ウェア更新を実施するモードです。

図 3-24 ソフトウェア更新(1)

①処理方式を選択します。

			†		
🌆 ソフトウェア更新ツール - C:	¥装置情報.csv				
ファイル(<u>E</u>) グループ(<u>G</u>) 装置	(<u>N</u>)実行(<u>E</u>)設定(<u>S</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)			
装置一覧 ロー <mark>→ グループA</mark> - 19216801(法置1)	グループ: グループA	処理方式: シリア シリア	7ル実行		
● 192.168.0.2(装置2)	☑ IPアドレス 3	表置名 場所 パラレ	ル実行	更新バージョン	ステータス
● 192.168.0.3(装置3)	192.168.0.1 装	置1 Center 1F	OS-L3A Ver. 11.9.A	OS-L3 Ver. 11.11.A(.	. 運用バージョン取得終
- ● 192.168.0.4(装置4)	☑ 192.168.0.2 装	置2 Center 1F	OS-L3A Ver. 11.9.A	OS-L3 Ver. 11.11.A(.	運用バージョン取得終
● クルーフB ガループC	▼ 192.168.0.3 栞	置3 Center 1F	OS-L3A Ver. 11.9.A	OS-L3 Ver. 11.11.A(運用バージョン取得終
■ - <u>「</u> グループD	192.108.0.4	a面4 Center IF	US-L3A Ver. 11.9.A	US-La ver. H.H.A(.	7里用ハーンヨノ4灯寺校…
	②[実行]ボ	タンを押下し	ます。 🔶		
A.7.				運用バージョ	ン取得 実行
日付時刻	IPアドレス	メッセージ			
2014/01/09 11:14:55.169	192.168.0.3	連用バージョン取得を開	始します。		
2014/01/09 11:14:55.212	192.168.0.4	運用バージョン取得を開	始します。		
2014/01/09 11:14:56:242	192.168.0.2	運用バージョン取得が止'	常終了しました。		
2014/01/09 11:14:56:263	192.108.0.3	2月11日1日2日211日日 1月11日1日2日211日日	市旅了しました。 学终了しました		
2014/01/09 11:14:56:392	192.168.0.1	運用バージョン取得が正	南部 1080に。		=
2014/01/09 11:14:56:573			オス2回日17、25-N.町VE	はジタフレキレも	

図 3-25 ソフトウェア更新(2)

③ソフトウェア更新が正常終了すると、ステータスが「再起動確認終 了(成功)」に遷移し、運用バージョンが更新されます。

1

🏼 ソフトウェア更新ツーノ	- C:¥装置情報.csv	
ファイル(F) グループ(G)	装置(N) 実行(E) 設定(S) ヘルプ(H)	
装置一覧 ロー <mark>↓ グループA</mark> ・・・・・192.168.0.1(装置 ・・・・・192.168.0.2(装置)	ガループ: ガループA 処理方式: ジルブ 装置情報 IPアドレス 装置名 場所	ル実行 運用バージョン 更新バージョン ステータス
- ● 192.168.0.3(装置)) 📝 192.168.0.1 装置1 Center 1F	OS-L3A Ver. 11.11.A OS-L3 Ver. 11.11.A(再起動確認終了(成
● 192.168.0.4(装置)) 🔽 192.168.0.2 装置2 Center1F	OS-L3A Ver. 11.11.A OS-L3 Ver. 11.11.A(再起動確認終了(成
■ [●] ● グループB	☑ 192.168.0.3 装置3 Center 1F	OS-L3A Ver. 11.11.A OS-L3 Ver. 11.11.A(再起動確認終了(成
クループロ	☑ 192.168.0.4 装置4 Center 1F	OS-L3A Ver. 11.11.A OS-L3 Ver. 11.11.A(再起動確認終了(成
		運用バージョン取得 実行
日付時刻	IPアドレス メッセージ	
2014/01/09 11:23:01.4	1 192.168.0.4 ソフトウェアファイルのアップ	(ロードを開始します。
2014/01/09 11:23:11.4	2 192.168.0.4 ソフトウェアファイルのアップ	ロードが正常終了しました。
2014/01/09 11:23:11.5	5 192.168.0.4 ソフトウェア更新を開始し	ます。
2014/01/09 11:23:16.5	2 192.168.0.4 ソフトウェア更新が正常約 2 199.168.0.4 注意の方法の目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的	
2014/01/09 11:23:46.6	/ 192.168.0.4 装置の再起動確認を開	始します。
2014/01/09 11:24:23.9	15 192.168.0.4 装置の再起動確認が止	市於了しました。
2014/01/09 11:24:24.1	9 クループ クループA に対	するソフトフェア更新加止常統了しました。

4. ツールの設定ファイル

この章では、ソフトウェア更新ツールの設定ファイルついて説明します。

4.1設定ファイル4.2設定項目一覧

4.1 設定ファイル

ソフトウェア更新ツールは,起動時に設定ファイルの読み込みを行います。従 って,ソフトウェア更新ツールを起動する前に,設定ファイルの内容を変更す ることで,ツールの動作を変更することができます。 設定ファイルは以下に格納されています。

<TARGETDIR>¥SoftwareUpdater¥SoftwareUpdater.properties

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

4.2 設定項目一覧

ソフトウェア更新ツールの設定ファイルに定義されている項目には,以下があ ります。なお,本表で記載されていない設定項目は,編集しないでください。 設定ファイルの編集はツールが起動していない時に行います。ツール起動中に 設定ファイルの設定項目を編集した場合には,[ツール]設定画面で[OK]ボ タンを押下した時,およびツールを終了した時に上書きされますので,ご注意 ください。

項番	項目	意味
1	LOG_FILE_NAME	動作ログファイルのファイル名です。
		デフォルトは Table.log です。※1※2※3
2	LOG_FILE_SIZE	動作ログファイルのサイズです[単位: MB]。
		デフォルトは8[MB]です。半角数値0~16 を指定可能です。0を指定した場合はログ が出力されません。上記以外の場合は 10[MB]で動作します。
3	LOG_KEEP_AMOUNT	動作ログファイルは、ファイルサイズが LOG_FILE_SIZE で設定しているサイズに 達すると、タイムスタンプが付与されたフ ァイル名にリネームされて退避されます が、動作ログファイル数の上限を定義しま す[単位:個]。ディレクトリ内に退避され 蓄積したファイル数が、本項目の定義値に 達すると、次回ログ退避時には、最古の退 避ファイルが上書されます。 デフォルトは50[個]です。半角数値1~50 を指定可能です。上記以外の場合はデフォ ルト値で動作します。
4	LOG_OUTPUT_DIR	動作ログ出力先ディレクトリです。

表 4-1 ソフトウェア更新ツールの設定項目一覧

		デフォルトは table-log です。※1※2※3
5	TRACE_LOG_FILE_NAME	デバッグログファイルのファイル名です。
		デフォルトは Trace.log です。※1※2※3
6	TRACE_LOG_FILE_SIZE	デバッグログファイルのサイズです[単
		位:MBJ。
		デフォルトは8[MB]です。半角数値0~16 を指定可能です。0を指定した場合はログ が出力されません。上記以外の場合は 10[MB]で動作します。
7	TRACE_LOG_KEEP_AMOUNT	デバッグログファイルは、ファイルサイズ がLOG_FILE_SIZEで設定しているサイズ に達すると、タイムスタンプが付与された ファイル名にリネームされて退避されま すが、本項目は、デバッグログファイル数 の上限を定義します[単位:個]。ディレク トリ内に退避され蓄積したファイル数が、 本項目の定義値に達すると、次回ログ退避 時には、最古の退避ファイルが上書されま す。 デフォルトは 50[個]です。半角数値 1~50 を指定可能です。上記以外の場合はデフォ
8	TRACE_LOG_LEVEL	プログラムの中で指定したデバッグログ の出力レベルがこのプロパティで指定し た値と同じか高い場合にログを出力しま す。ログ出力レベルは高い順に次の3つが あります
		• INFO
		• DFRUG
		デフォルトは INFO です。
9	TRACE_LOG_OUTPUT	デバッグログを出力するかどうかを指定 します。ONに設定するとログが出力され、

		OFF に設定するとログは出力されません。
		デフォルトは ON です。
10	TRACE_LOG_OUTPUT_DIR	デバッグログ出力先ディレクトリです。
		デフォルトは trace-log です。※1※2※3
11	execute.duplex.system.update.mode	冗長構成を取れる装置に対するソフトウ
		ェア更新方法を設定します。
		「ACTIVE」を設定…
		運用系に対してソフトウェア更新を実
		施します。
		「STANDBY」を設定…
		待機系に対してソフトウェア更新を実
		施します。
		「AUTO」を設定…
		待機系,運用系の順に,両系に対してソ
		フトウェア更新を行います。
		デフォルトは AUTO です。
		[注意事項]
		 ・冗長構成で運用不可の装置に対して、本 設定値は無効です。
		・「AUTO」指定でソフトウェア更新を実
		施した場合、旧待機系が運用系に、旧運
		用系が待機系になりますので、必要に応
		して、装直のCLIから糸の切戻しを実施
		いた場合、待機系が実装されていない場
		合にはエラーで終了します。
12	common.appinstcheck.port	本ツールが既に起動しているかどうかを
		確認する際に利用する TCP ポート番号で
		す。5001~65535の範囲から指定します。
		デフォルトは9479です。本ツールのデフ
		ォルトである TCP ポート 9479 が既に使用

		されており,別のTCP ポート番号へ変え る場合,他のアプリケーションで利用して いるTCP ポート番号と重ならないように 設定してください。他のアプリケーション が使用しているTCP ポート番号を確認す るには,コマンドプロンプト上で"netstat -an"コマンドを実行して,使用しているポ ートを確認してください。※4
13	common.format.nodeinfo.import.duplicate.entry	装置情報のインポートを行う際,インポート 対象の装置情報の IP アドレスが,ツールが 保持している既存の装置情報の IP アドレス と同じ場合,インポート対象の装置情報を読 み飛ばすか,既存の装置情報をインポート対 象の装置情報で入れ替えるかを指定します。 ・SKIP…インポート対象の装置情報を読み飛 ばす ・REPLACE…既存の装置情報をインポート 対象の装置情報で入れ替える デフォルトは SKIP です。

※1…ディレクトリ名およびファイル名として利用できない文字を設定した場 合にはログが出力されなくなりますのでご注意ください。

※2…設定ファイル上では、指定値に以下の文字を含む場合、その文字の前に

¥(半角円記号)を追加して指定してください。

[対象の文字]

¥ # ! = :

例: 値 C:¥Documents and Settings¥operator#1¥trace を指定する場合

→設定ファイルでの指定値(下線部が追加指定分)

$C\underline{\underline{Y}}:\underline{\underline{Y}} \\ \texttt{Documents and Settings} \\ \underline{\underline{Y}} \\ \texttt{Operator} \\ \underline{\underline{Y}} \\ \texttt{H1} \\ \underline{\underline{Y}} \\ \texttt{Y} \\ \texttt{trace} \\ \texttt{H1} \\ \underline{\underline{Y}} \\ \texttt{Trace} \\ \texttt{H1} \\ \underline{\underline{Y} \\ \texttt{Trace} \\ \texttt{Trace} \\ \texttt{H1} \\ \underline{\underline{Y}} \\ \texttt{Trace} \\ \texttt{Trace} \\ \underline{\underline{Y} \\ } \\ \underline{\underline{Y} \\ } \\ \underline{\underline{Y} \\ \underline{Y} \\ \underline$

※3…AX-Networker's-Utilityの他のツールを利用している場合,

共通のディレクトリ名およびファイル名を指定しないでください。

※4…本ツール用の TCP ポート番号が使用されているかどうかを確認するには コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr ":9479"

本ツール用の TCP ポート番号が使用されている場合には,以下のように 表示されます。左から2番目の文字列の末尾が "<u>:9479</u>" になります。

 TCP
 127.0.0.1:9479
 0.0.0.0:0
 LISTENING

 本ツール用の TCP ポート番号が使用されていない場合には、何も表示

 されません。

本ツールおよび他のアプリケーションで利用している TCP ポート番号を 確認するには,コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行してください。

netstat -an | findstr "TCP"

本ツールおよび他のアプリケーションで利用しているポート番号は,以下 のように表示されます。左から2番目の文字列の:文字の後ろがTCPポ ート番号です。

TCP	0.0.0:135	0.0.0.0:0	LISTENING
ТСР	0.0.0.0:445	0.0.0.0:0	LISTENING
ТСР	127.0.0.1:9479	0.0.0.0:0	LISTENING
:	:	:	:

(以下省略)

本ツールで利用する TCP ポート番号をデフォルトから変更する場合には 上記の利用しているポート番号以外を指定してください。

5. トラブルシューティング

この章では,ソフトウェア更新ツールのトラブルシューティングについて説明 します。

<u>5.1 トラブル発生時の対応</u>
<u>5.2 メッセージー覧</u>
5.3 ログファイル

5.1 トラブル発生時の対応

本ツールの操作中に発生するトラブルへの対応方法を解説します。

項番	現象	
	原因	
	対応方法	
1	ツールの操作により,[装置情報設定]画面や,[グループ情報設定]画面等の画面を開いた	
	ところ、入力項目のないグレーの画面が表示された。	
	ツールの操作により画面を開いた際、まれに、入力項目のないグレーの画面が表示され	
	る場合があります。	
	一度[×]ボタンで画面を閉じ,操作を再度行って画面を開き直してください。	
2	[運用バージョン取得]操作を行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示	
	され、操作が失敗終了した。	
	メッセージ:	
	・「運用バージョン取得に失敗しました。(要因:接続失敗,エラーメッセージ:[エラ	
	ーメッセージ])」	
	・「グループ [グループ名] に対する運用バージョン取得に失敗しました。」	
	以下が原因として考えられます。	
	①ツールに登録した装置の IP アドレスが誤っている。	
	②「2.3 装置の設定を行う」に記載の設定が行われていない。	
	③装置側の設定,もしくは、ソフトウェア更新サーバ(本ツールを起動しているサーバ)	
	側のネットワーク設定に起因して、ソフトウェア更新サーバと、装置間が、通信不可の	
	状態になっている。	
	④ソフトウェア更新サーバ(本ツールを起動しているサーバ)と,装置間の回線が物理	
	的に切断している。	
	①または②に問題が無いかどうか、確認してください。	
	①が原因の場合は、[装置]-[編集]操作により、装置の IP アドレスを修正したのち、[運用	
	バージョン取得]操作を再度実行してください。	
	②が原因の場合は、「 <u>2.3 装置の設定を行う</u> 」の内容に従って装置の設定を行った後、[運	
	用バージョン取得]操作を再度実行してください。	

表 5-1 トラブル発生時の対応方法

	①, ②に問題が無い場合は、③または④について確認し、ソフトウェア更新サーバと、
	装置間を通信可能な状態に復旧した後, [運用バージョン取得]操作を再度実行してくださ
	لان _°
3	ソフトウェアファイルを所定の場所に配置し、ソフトウェアファイル格納先ディレクト
	リの設定を行ったが,装置情報テーブルの更新バージョン列のプルダウンメニューに,
	ソフトウェアファイルが全く表示されない、もしくは、ソフトウェアファイルの一部が
	表示されない。
	以下が原因として考えられます。
	①ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに配置されているソフトウェアファイルの
	中に、対象装置に対して更新可能なファイルが一つも存在しない。
	②ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに配置されているソフトウェアファイルの
	ファイル名が、ツールが認識できるファイル名になっていない。
	①装置情報テーブルの更新バージョン列のプルダウンメニューには、対象装置に対して
	更新可能なファイルのみが一覧表示されます。「 <u>3.3.1 ソフトウェアファイルを指定する</u> 」
	を参照し、配置されているファイルが対象装置に対して更新可能なファイルであるかど
	うか確認してください。
	②が原因の場合は、ファイル名を規定のフォーマットに修正してください。なお、規定
	のフォーマットについては, 「 <u>2.2 装置新ソフトウェアをソフトウェア更新サーバに配置</u>
	オス」の「汁辛車店」なお照してください
4	<u>する</u> 」の[注意事項]を参照してくたさい。 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ,以下のエラーメッセ
4	<u>する</u> 」の[住息事項]を参照してくたさい。 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ,以下のエラーメッセ ージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。
4	 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ)
4	 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」
4	
4	
4	
4	
4	
4	 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセ ージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されて いる等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。
4	する」の[注意事項]を参照してくたさい。 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されている等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。 本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア
4	 小(社営事項)を参照してくたさい。 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されている等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。 本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア 更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラ
4	 小気」の[注意事項]を参照じてくたさい。 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ,以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されている等,ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。 本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア 更新操作を行ったところ,以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。
4	 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されている等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。 本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア 更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「待機系のソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in application (エラーメッセージ: An error occurred in application)
4	すべの 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されている等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。 本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア 更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「待機系のソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」
4	する」の[注意事項]を参照してくたさい。 本ツールから装置に対してソフトウェア更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「(運用系の/待機系の)ソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」 装置のソフトウェアファイル転送先※1 に既に他のソフトウェアファイルが格納されている等、ソフトウェアファイル転送先に空き容量が無い場合に、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。 ※1 /usr/var/update 配下です。 ソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後、操作を再度実行してください。 本ツールから冗長構成の装置に対して STANDBY 指定または AUTO 指定でソフトウェア 更新操作を行ったところ、以下のエラーメッセージが表示されソフトウェア更新がエラー終了した。 ・「待機系のソフトウェア更新に失敗しました。(エラーメッセージ: An error occurred in update.)」 ・「グループ [グループ名] に対するソフトウェア更新に失敗しました。」

	※1 /usr/var/update 配下です。		
	待機系の空き容量が不足している可能性があります。待機系のソフトウェア更新を行う		
	際には、本ツールが運用系に転送したソフトウェアファイルが待機系の /usr/var/update		
	配下にコピーされますが,待機系のソフトウェアファイル転送先※1に,ソフトウェアフ		
	ァイルをコピーするだけの空き容量がない可能性があります。		
	※1 待機系の/usr/var/update 配下です。		
	待機系のソフトウェアファイル転送先の空き容量を確保した後,操作を再度実行してく		
	ださい。		
6	[運用バージョン取得], [実行]操作を行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセー		
	ジが表示され、操作が失敗終了した。		
	 「運用バージョン確認に失敗しました。(要因:オペレーションに失敗,エラーメッ 		
	セージ: ERR0300 : Fatal error. Cannot generate 'message ID' for connection.) 」		
	 「装置の再起動確認に失敗しました。(要因:オペレーションに失敗,エラーメッセ 		
	$-\vec{\mathcal{S}}$: ERR0300 : Fatal error. Cannot generate 'message ID' for connection.)		
	・「[系]の再起動確認に失敗しました。(要因:オペレーションに失敗,エラーメッセー		
	\Im : ERR0300 : Fatal error. Cannot generate 'message ID' for connection.)		
	ツールと装置間の通信時に利用するファイルの内容が不正な内容になっていることが原		
	因として考えられます。		
	以下のファイルを削除して、実施した操作を再度行ってください。		
	<targetdir>¥SoftwareUpdater¥message.count</targetdir>		
	<targetdir>…AX-Networker's-Utility インストールディレクトリ</targetdir>		
	デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility		
7	ソフトウェア更新の[実行]操作を行ったところ, ログ情報テーブルに以下のメッセージが		
	表示され、操作が失敗終了した。		
	・「装置の再起動確認に失敗しました。(エラーメッセージ:装置が障害中です。)」		
	ツールが起動状態の確認を行った際,装置が初期化処理を実行しており,装置状態が一		
	時的に不正な内容になっていたことが原因として考えられます。		
	装置の[運用バージョン取得]操作を行い, 装置のソフトウェアバージョンを確認してくだ		
	さい。表示された装置の「運用バージョン」が、ソフトウェア更新時の「更新バージョ		
	ン」と異なる場合,再度ソフトウェア更新の[実行]操作を実施してください。		
8	ソフトウェアファイル格納先ディレクトリに AX2500S および AX2500SE 用のソフトウェ		
	アファイルを混在して格納させた状態で,AX2500S または AX2500SE に対してソフトウ		
	ェア更新の[実行]操作を行ったところ、ログ情報テーブルに以下のメッセージが表示さ		
	れ、操作が失敗終了した。		
	・「ソフトウェアファイルのアップロードに失敗しました。(エラーメッセージ:'[ソフ		

ソフトウェア更新対象装置用に装置情報テーブルの[更新バージョン]列で選択したバージョンに対応する装置のソフトウェアファイルが存在しません。
 ソフトウェアファイル格納先ディレクトリの内容を確認し、ソフトウェア更新対象装置
 用のソフトウェアファイルが存在することを確認してください。ソフトウェアファイル
 のファイル名については「2.2 装置新ソフトウェアをソフトウェア更新サーバに配置する」を参照してください。ソフトウェアファイルが存在することを確認できたら、再度
 ソフトウェア更新の[実行]操作を実施してください。

5.2 メッセージー覧

(1) ソフトウェア更新ツールのダイアログ表示メッセージー覧

ソフトウェア更新ツール上に表示されるメッセージの一覧を次の表に示します。

表 5-2 ダイアログ表示メッセージー覧

項番	メッセージ	内容
1	グループ名は 1~32 文字の文字列で	グループ名の入力値が不正です。
	入力してください。	
2	そのグループ名を持つグループは既	グループ名はツール上で一意にする必要
	に存在します。	があります。
3	IPアドレスは10進ドット記法のIPv4	IP アドレスの入力値が不正です。
	アドレスで入力してください。	
4	そのIPアドレスを持つ装置は既に存	IPアドレスはツール上で一意にする必要
	在します。	があります。
5	装置名は 0~64 文字の文字列で入力	装置名の入力値が不正です。
	してください。	
6	場所は 0~64 文字の文字列で入力し	場所の入力値が不正です。
	てください。	
7	そのIPアドレスは装置に設定できな	以下の IP アドレスは入力できません。
	いアドレスです。再度入力してくだ	• 0.*.*.*
	さい。	• 127.*.*.*
		• 224~255.*.*.*
		*…0~255
8	設定ファイルの保存に失敗しまし	設定ファイル
	た。	「SoftwareUpdater.properties」の保存に失
		敗しました。本メッセージが表示された
		場合は、設定ファイルを外部のエディタ
		等で開いたままの状態にしていないか,
		あるいは、設定ファイルが読み取り専用
		属性になっていないかを確認してくださ
		٧٠.
9	本ツールは同時に 2 つ以上起動でき	本ツールがすでに起動しているか、本ツ
	ません。またはポートが使用されて	ールが使用する TCP ポート (デフォルト

	います。終了します。	は9479)が使用されています。
		別のアプリケーションで TCP ポート
		9479 が利用されている場合は, そのアプ
		リケーションを終了させるか, 「 <u>4.2 設</u>
		定項目一覧」記載の
		common.appinstcheck.portの値を変更して
		本ツールを起動させてください。
10	本ツールの起動チェックに失敗しま	本ツールの2重起動チェックに失敗しま
	した。終了します。	した。本メッセージが表示された場合,
		再度操作を行ってください。再度操作を
		行っても表示される場合は、販売元に問
		い合わせてください。
11	装置情報ファイルの上書き保存に失	装置情報ファイルの上書き保存に失敗し
	敗しました。	ました。本メッセージが表示された場合
		は、装置情報ファイルを外部のエディタ
		等で開いたままの状態にしていないか,
		あるいは、装置情報ファイルが読み取り
		専用属性になっていないかを確認してく
		ださい。
12	装置情報ファイルの保存に失敗しま	装置情報ファイルの保存に失敗しまし
	した。	た。本メッセージが表示された場合は,
		装置情報ファイルを外部のエディタ等で
		開いたままの状態にしていないか、ある
		いは、装置情報ファイルが読み取り専用
		属性になっていないか、確認してくださ
		<i>۷</i> ۰,
13	ユーザは 6~16 文字の半角英数字で	ユーザの入力値が不正です。
	入力してください。	
14	パスワードは 6~16 文字の半角英数	パスワードの入力値が不正です。
	字で入力してください。	
15	バージョン取得対象装置が存在しま	装置情報テーブル上で,チェックが入っ
	せん。	ている装置が一つも存在しないグループ
		を指定して、運用バージョン取得を実施
		した場合に、本メッセージが表示されま
		す。運用バージョン取得を行う装置にチ
		ェックを入れた後,操作を再実施してく

		ださい。
16	運用バージョンが取得されていない	装置情報テーブル上で、「チェックが入
	装置が存在します。	っているが運用バージョンが未取得の装
		置」が存在するグループを指定して、ソ
		フトウェア更新を実行した場合に、本メ
		ッセージが表示されます。チェックが入
		っているすべての装置に対して運用バー
		ジョン取得を行った後、ソフトウェア更
		新を実行してください。
17	更新対象装置が存在しません。	装置情報テーブル上で、チェックが入っ
		ている装置が一つも存在しないグループ
		を指定して、ソフトウェア更新を実施し
		た場合に、本メッセージが表示されます。
		運用バージョン取得を行う装置にチェッ
		クを入れた後、操作を再実施してくださ
		لائ _ہ
18	更新バージョンが選択されていない	装置情報テーブル上で,「チェックが入
	装置が存在します。	っているが更新バージョンが未選択の装
		置」が存在するグループを指定して、ソ
		フトウェア更新を実行した場合に、本メ
		ッセージが表示されます。チェックが入
		っているすべての装置に対して更新バー
		ジョンを選択した後、ソフトウェア更新
		を実行してください。
19	指定されたディレクトリは有効なデ	[ツール設定]画面で, ソフトウェアファ
	ィレクトリではありません。再度選	イル格納先ディレクトリに、ディレクト
	択してください。	リ以外(ファイルやショートカット)を
		指定した場合に、本メッセージが表示さ
		れます。
20	ディレクトリの記述に使用できない	[ツール設定]画面で,ソフトウェアファ
	文字が含まれます。再度入力してく	イル格納先ディレクトリに、使用不可文
	ださい。	字「*」,「?」,「"」,「<」,「>」,「 」の
		いずれかが含まれている状態で, [OK],
		または,[適用]ボタンを押下した場合に
		本メッセージが表示されます。
21	ディレクトリが記述されていませ	[ツール設定]画面で,ソフトウェアファ

	ん。再度入力してください。	イル格納先ディレクトリが未入力の状態
		で, [OK], または, [適用]ボタンを押下
		した場合に本メッセージが表示されま
		す。
22	グループ [グループ名] を削除しま	グループの削除を行う際に表示される確
	すか?	認メッセージです。
23	装置 [IP アドレス(装置名)] を削除	装置の削除を行う際に表示される確認メ
	しますか?	ッセージです。
24	グループ [グループ名]に対して,運	運用バージョン取得を行う際に表示され
	用バージョンを取得しますか?	る確認メッセージです。
25	グループ [グループ名]に対して,ソ	ソフトウェア更新を行う際に表示される
	フトウェア更新を実行しますか?	確認メッセージです。
26	装置情報が保存されていません。保	ツール上の情報が装置情報ファイルに未
	存しますか?	保存の状態で、ツールを終了しようとし
		た場合に表示されるメッセージです。
27	装置 [IP アドレス(装置名)] は待機	待機系が障害中のため、待機系のソフト
	系が障害中のため待機系のソフトウ	ウェア更新に失敗しました。待機系の状
	ェア更新を実行できません。※ツー	態を確認してください。
	ルが保持する装置の状態が最新でな	
	い可能性もあります。最新の状態を	
	確認してからソフトウェア更新を実	
	行する場合は,1度運用バージョン取	
	得操作を行ってから再度実行してく	
	ださい。	
28	装置 [IP アドレス(装置名)] は待機	待機系が初期化中のため,待機系のソフ
	系が初期化中のため待機系のソフト	トウェア更新に失敗しました。待機系の
	ウェア更新を実行できません。※ツ	状態を確認してください。
	ールが保持する装置の状態が最新で	
	ない可能性もあります。最新の状態	
	を確認してからソフトウェア更新を	
	実行する場合は、1度運用バージョン	
	取得操作を行ってから再度実行して	
	ください。	
29	装置 [IP アドレス(装置名)] は待機	待機系が非アクティブのため、待機系の
	系が非アクティブのため待機系のソ	ソフトウェア更新に失敗しました。待機
	フトウェア更新を実行できません。	系の状態を確認してください。

	※ツールが保持する装置の状態が最	
	新でない可能性もあります。最新の	
	状態を確認してからソフトウェア更	
	新を実行する場合は,1度運用バージ	
	ョン取得操作を行ってから再度実行	
	してください。	
30	装置 [IP アドレス(装置名)] は待機	待機系が未実装のため、待機系のソフト
	系が未接続のため待機系のソフトウ	ウェア更新に失敗しました。待機系の状
	ェア更新を実行できません。※ツー	態を確認してください。
	ルが保持する装置の状態が最新でな	
	い可能性もあります。最新の状態を	
	確認してからソフトウェア更新を実	
	行する場合は,1度運用バージョン取	
	得操作を行ってから再度実行してく	
	ださい。	
31	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	運用系と待機系が不一致の状態で待機系
	系はコンフィグレーションの不一致	に対してソフトウェアの更新を行う際に
	により運用系と非同期中です。待機	表示される確認メッセージです。
	系のソフトウェア更新を実行しても	
	宜しいですか?※ツールが保持する	
	装置の状態が最新でない可能性もあ	
	ります。1 度〔いいえ〕 ボタンを押し	
	て本画面を閉じ,運用バージョン取	
	得操作を行ってから再度実行してく	
	ださい。	
32	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	運用系と待機系が不一致の状態で待機系
	系はソフトウェアバージョンの不一	に対してソフトウェアの更新を行う際に
	致により運用系と非同期中です。待	表示される確認メッセージです。
	機系のソフトウェア更新を実行して	
	も宜しいですか?※ツールが保持す	
	る装置の状態が最新でない可能性も	
	あります。1 度〔いいえ〕 ボタンを押	
	して本画面を閉じ,運用バージョン	
	取得操作を行ってから再度実行して	
	ください。	
33	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	運用系と待機系が不一致の状態で待機系

	系はライセンスキーの不一致により	に対してソフトウェアの更新を行う際に
	運用系と非同期中です。待機系のソ	表示される確認メッセージです。
	フトウェア更新を実行しても宜しい	
	ですか?※ツールが保持する装置の	
	状態が最新でない可能性もありま	
	す。1度〔いいえ〕 ボタンを押して本	
	画面を閉じ,運用バージョン取得操	
	作を行ってから再度実行してくださ	
	<i>د</i> ، .	
34	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	稼動状態でない待機系に対してソフトウ
	系は不明状態です。待機系のソフト	ェアの更新を行う際に表示される確認メ
	ウェア更新を実行しても宜しいです	ッセージです。
	か?※ツールが保持する装置の状態	
	が最新でない可能性もあります。1	
	度〔いいえ〕ボタンを押して本画面	
	を閉じ,運用バージョン取得操作を	
	行ってから再度実行してください。	
35	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	稼動状態でない待機系に対してソフトウ
	系は初期化中です。運用系のソフト	ェアの更新を行う際に表示される確認メ
	ウェア更新を実行しても宜しいです	ッセージです。
	か?※ツールが保持する装置の状態	
	が最新でない可能性もあります。1	
	度〔いいえ〕ボタンを押して本画面	
	を閉じ,運用バージョン取得操作を	
	行ってから再度実行してください。	
36	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	稼動状態でない待機系に対してソフトウ
	系は障害中です。運用系のソフトウ	ェアの更新を行う際に表示される確認メ
	ェア更新を実行しても宜しいです	ッセージです。
	か?※ツールが保持する装置の状態	
	が最新でない可能性もあります。1	
	度〔いいえ〕ボタンを押して本画面	
	を閉じ,運用バージョン取得操作を	
	行ってから再度実行してください。	
37	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	稼動状態でない待機系に対してソフトウ
	系は非アクティブです。運用系のソ	ェアの更新を行う際に表示される確認メ
	フトウェア更新を実行しても宜しい	ッセージです。

	ですか?※ツールが保持する装置の	
	状態が最新でない可能性もありま	
	す。1度〔いいえ〕ボタンを押して本	
	画面を閉じ,運用バージョン取得操	
	作を行ってから再度実行してくださ	
	<i>د</i> ، .	
38	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	運用系と待機系が不一致の状態で運用系
	系はコンフィグレーションの不一致	に対してソフトウェアの更新を行う際に
	により運用系と非同期中です。運用	表示される確認メッセージです。
	系のソフトウェア更新を実行しても	
	宜しいですか?※ツールが保持する	
	装置の状態が最新でない可能性もあ	
	ります。1 度〔いいえ〕 ボタンを押し	
	て本画面を閉じ,運用バージョン取	
	得操作を行ってから再度実行してく	
	ださい。	
39	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	運用系と待機系が不一致の状態で運用系
	系はソフトウェアバージョンの不一	に対してソフトウェアの更新を行う際に
	致により運用系と非同期中です。運	表示される確認メッセージです。
	用系のソフトウェア更新を実行して	
	も宜しいですか?※ツールが保持す	
	る装置の状態が最新でない可能性も	
	あります。1 度〔いいえ〕 ボタンを押	
	して本画面を閉じ,運用バージョン	
	取得操作を行ってから再度実行して	
	ください。	
40	装置 [IP アドレス(装置名)] の待機	運用系と待機系が不一致の状態で運用系
	系はライセンスキーの不一致により	に対してソフトウェアの更新を行う際に
	運用系と非同期中です。運用系のソ	表示される確認メッセージです。
	フトウェア更新を実行しても宜しい	
	ですか?※ツールが保持する装置の	
	状態が最新でない可能性もありま	
	す。1 度 〔いいえ〕 ボタンを押して本	
	画面を閉じ,運用バージョン取得操	
	作を行ってから再度実行してくださ	
	لار) م	
41	装置 [IP アドレス(装置名)] 装置 [IP	待機系が稼動状態でない状態で運用系に
----	--------------------------	--------------------
	アドレス(装置名)] の待機系は不明	対してソフトウェアの更新を行う際に表
	状態です。運用系のソフトウェア更	示される確認メッセージです。
	新を実行しても宜しいですか?※ツ	
	ールが保持する装置の状態が最新で	
	ない可能性もあります。1度〔いいえ〕	
	ボタンを押して本画面を閉じ,運用	
	バージョン取得操作を行ってから再	
	度実行してください。	

(2) ソフトウェア更新ツールのログ情報テーブルに表示されるメ ッセージー覧

項番	メッセージ	内容
1	装置の移動に失敗しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ&ドロップ
		操作により、装置をあるグループから他
		のグループに移動した際、エラーが発生
		しました。
2	設定ファイルの保存に失敗しまし	設定ファイル
	た。	「SoftwareUpdater.properties」の保存に失
		敗しました。設定ファイルが外部のエデ
		ィタで開かれており、ロックがかかって
		いる状態か、ファイルが読み取り専用属
		性になっている可能性があります。
		設定ファイルを外部のエディタで開いて
		いる場合は閉じてください。読み取り専
		用属性になっている場合はアクセス権を
		設定してください。
3	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルの内容が不正です。ファイルの
	しました。(ファイルの内容が不正	内容を確認してください。
	です。ファイル名=[ファイル名])	
4	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルの区切り文字が不正です。ファ
	しました。(デリミタが不正です。	イルの内容を確認してください。

表 5-3 ログ情報テーブル表示メッセージー覧

	デリミタ=[デリミタ])	
5	ファイル読み込み中に不正な値を検	ファイルの内容が不正です。該当の項目
	出しました。(ファイル名=[ファイ	の値を修正した後、ファイルの読み込み
	ル名], [項目名]=[値])	を行ってください。
6	ファイル読み込み中に重複登録エラ	ファイルで[項目名]で示される項目の値
	ーを検出しました。(ファイル名=[フ	の重複を検知しました。[項目名]の[値]
	ァイル名], 行番号=[行番号] , [項目	を確認および修正した後、ファイルの読
	名]=[値])	み込みを行ってください。
7	ファイル読み込み中にエラーを検出	ファイルを読み込んだ際、指定したファ
	しました。(ファイル [ファイル名]	イルが見つからなかった場合に本メッセ
	が見つかりません。)	ージが表示されます。
		再度読み込むファイルの選択を行ってく
		ださい。
8	ファイル読み込み時にデフォルト値	インポートファイルを読み込んだ際, [IP
	を適用しました。(IP アドレス=[IP ア	アドレス]のエントリについて,[項目名]
	ドレス],装置名=[装置名],[項目	のデータが指定されていませんでした。
	名]=[値])	当該装置のフィールドにはデフォルト値
		を適用します。
9	ファイル読み込み時に登録済みの装	インポートファイルを読み込んだ際、既
	置を検出しました。読み込みをスキ	に登録済みの装置と同一の IP アドレス
	ップします。(IP アドレス=[IP アドレ	を持つエントリを発見しました。登録済
	ス],装置名=[装置名])	み装置の情報を優先し、インポートファ
		イルの内容を読み飛ばします。
10	ファイル読み込み時に登録済みの装	インポートファイルを読み込んだ際、既
	置を検出しました。登録済み装置を	に登録済みの装置と同一の IP アドレス
	更新します。(IP アドレス=[IP アドレ	を持つエントリを発見しました。登録済
	ス],装置名=[装置名])	み装置の情報を上書きします。
11	処理中にエラーが発生しました。前	AX-Networker's-Utility ユーザーズガイド
	提ソフトウェア,またはインストー	(インストール編)および本ユーザーズ
	ル時に展開された JAR ファイルが所	ガイドを参照し、前提ソフトウェアのフ
	定のディレクトリに存在しない可能	ァイルおよびインストール時に展開され
	性があります。	たファイルがインストール先ディレクト
		リに存在するかどうかを確認してくださ
		い。ファイルが存在しない場合には、再
		度インストール作業を行う必要がありま
		す。

10	知理中にテラーが爽生しました	如理中に予想したいテラーが改せしまし
12	処理中にエジーが発生しました。	処理中に予労しないエクーが発生しまし
		た。本メッセーンが表示された場合は、
		販売元に問い合わせてください。
13	装置を移動しました。	装置一覧ツリー上のドラッグ&ドロップ
		操作により、装置をあるグループから他
		のグループに移動した際に表示される操
		作イベントログです。
14	ファイルの読み込みに失敗しまし	[ファイル]-[開く]操作に失敗した場合に
	た。	表示される操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「ファイル読み込み中にエラーを検出し
		ました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に不正な値を検出
		しました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に重複登録エラー
		を検出しました。(エラーメッセージ)」
		上記メッセージが出力されていない場合
		は以下の対処を行ってください。指定し
		た装置情報ファイルを外部のエディタで
		開いている場合は閉じてください。
15	ファイルの上書き保存に失敗しまし	[ファイル]-[上書き保存]操作に失敗した
	た。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
		保存先の装置情報ファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ
		い。読み取り専用属性になっている場合
		はアクセス権を設定してください。
16	ファイルの保存に失敗しました。	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作に失
		敗した場合に表示される操作イベントロ
		グです。
		保存先の装置情報ファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ
		い。読み取り専用属性になっている場合
		はアクセス権を設定してください

17	アプリケーションが正常終了しませ	本ツール終了時に,ツールの設定情報や
	んでした。	装置情報をファイルに保存できなかった
		場合に、本メッセージが表示されます。
		本メッセージが出力された場合は、ツー
		ルの設定ファイルや装置情報ファイル
		が、読み取り専用になっている可能性が
		あります。
		設定ファイルや装置情報ファイルを外部
		のエディタで開いている場合は閉じてく
		ださい。読み取り専用属性になっている
		場合はアクセス権を設定してください。
18	装置情報のクリアに失敗しました。	[ファイル]-[新規作成]操作に失敗した場
		合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は,販売元に問い合わ
		せてください。
19	装置情報のインポートに失敗しまし	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
	た。	ート]操作に失敗した場合に表示される
		操作イベントログです。
		本メッセージとともに出力される以下の
		いずれかのメッセージの内容を確認して
		ください。
		「ファイル読み込み中にエラーを検出し
		ました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に不正な値を検出
		しました。(エラーメッセージ)」
		「ファイル読み込み中に重複登録エラー
		を検出しました。(エラーメッセージ)」
		上記メッセージが出力されていない場合
		は以下の対処を行ってください。
		指定したファイルを外部のエディタで開
		いている場合は閉じてください。
20	装置情報のエクスポートに失敗しま	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス
	した。	ポート]操作に失敗した場合に表示され
		る操作イベントログです。

		エクスポート先のファイルを外部のエデ
		ィタで開いている場合は閉じてくださ
		い。読み取り専用属性になっている場合
		はアクセス権を設定してください。
21	グループの追加に失敗しました。	[グループ]-[追加]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
22	グループ情報の更新に失敗しまし	[グループ]-[編集]操作に失敗した場合に
	た。	表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
23	グループの削除に失敗しました。	[グループ]-[削除]操作に失敗した場合に
		表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
24	装置の追加に失敗しました。	[装置]-[追加]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
25	装置情報の更新に失敗しました。	[装置]-[編集]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合,再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
26	装置の削除に失敗しました。	[装置]-[削除]操作に失敗した場合に表示
		される操作イベントログです。

		本メッセージが表示された場合、再度操
		作を行ってください。再度操作を行って
		も表示される場合は、販売元に問い合わ
		せてください。
27	グループ [グループ名] に対する運	[運用バージョン取得]操作に失敗した場
	用バージョン取得に失敗しました。	合に表示される操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応」の「表 5-1 トラ</u>
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
28	グループ [グループ名]に対するソフ	[実行]操作に失敗した場合に表示される
	トウェア更新に失敗しました。	操作イベントログです。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
29	ソフトウェアファイル格納先ディレ	ソフトウェアファイル格納先ディレクト
	クトリの更新に失敗しました。	リの設定操作に失敗した場合に表示され
		る操作イベントログです。
		本ツールの設定ファイルを外部のエディ
		タで開いている場合は閉じてください。
		読み取り専用属性になっている場合はア
		クセス権を設定してください。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
30	運用バージョン取得に失敗しまし	運用バージョン取得に失敗した際に出力
	t€₀	されます。本メッセージは装置単位に出
		力されます。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ

		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
31	ソフトウェアファイルのアップロー	ソフトウェアファイルのアップロードに
	ドに失敗しました。	失敗した際に出力されます。本メッセー
		ジは装置単位に出力されます。
32	ソフトウェア更新に失敗しました。	ソフトウェア更新に失敗した際に出力さ
		れます。本メッセージは装置単位に出力
		されます。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
33	待機系のソフトウェア更新に失敗し	装置が冗長構成の場合、待機系のソフト
	ました。	ウェア更新に失敗した際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
34	運用系ソフトウェア更新に失敗しま	装置が冗長構成の場合,運用系のソフト
	した。	ウェア更新に失敗した際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
		本メッセージが表示された場合は,「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
35	装置の再起動確認に失敗しました。	ソフトウェア更新後の、装置の再起動確
		認に失敗した際に出力されます。本メッ
		セージは装置単位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ

		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
36	装置の再起動確認に失敗しました。	装置ヘサポート対象外バージョンのソフ
	(要因:無効な設定値,エラーメッ	トウェアファイルを更新した可能性があ
	セージ : [エラーメッセージ])	ります。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
37	待機系の再起動確認に失敗しまし	装置が冗長構成の場合、ソフトウェア更
	た。	新後の、装置の再起動確認に失敗した際
		に出力されます。本メッセージは装置単
		位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
38	旧運用系の再起動確認に失敗しまし	装置が冗長構成の場合,ソフトウェア更
	た。	新後の,装置の再起動確認に失敗した際
		に出力されます。本メッセージは装置単
		位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は、「 <u>5.1</u>
		<u>トラブル発生時の対応</u> 」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ
		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
39	運用系の再起動確認に失敗しまし	装置が冗長構成でない場合、ソフトウェ
	た。	ア更新後の、装置の再起動確認に失敗し
		た際に出力されます。本メッセージは装
		置単位に出力されます。
		本メッセージが表示された場合は, 「 <u>5.1</u>
		トラブル発生時の対応」の「表 5-1 トラ
		ブル発生時の対応方法」を参照してくだ

		さい。それでもエラーが解消されない場
		合には販売元に問い合わせてください。
40	アプリケーションが起動しました。	アプリケーション起動時に必ず出力され
		ます。
41	ファイルの読み込みが正常終了しま	[ファイル]-[開く]操作が正常終了した場
	した。	合に表示される操作イベントログです。
42	ファイル読み込みをキャンセルしま	[ファイル]-[開く]操作をキャンセルした
	した。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
43	ツール上の情報をファイルに上書き	[ファイル]-[上書き保存]操作が正常終了
	保存しました。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
44	ツール上の情報をファイルに保存し	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作が正
	ました。	常終了した場合に表示される操作イベン
		トログです。
45	ファイルの保存をキャンセルしまし	[ファイル]-[名前を付けて保存]操作をキ
	₹€.₀	ャンセルした場合に表示される操作イベ
		ントログです。
46	アプリケーションを終了しました。	[ファイル]-[終了]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
47	アプリケーションの終了をキャンセ	[ファイル]-[終了]操作をキャンセルした
	ルしました。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
48	装置情報をクリアしました。	[ファイル]-[新規作成]操作が正常終了し
		た場合に表示される操作イベントログで
		す。
49	装置情報のクリアをキャンセルしま	[ファイル]-[新規作成]操作をキャンセル
	した。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
50	装置情報をインポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
		ート]操作が正常終了した場合に表示さ
		れる操作イベントログです。
51	装置情報のインポートをキャンセル	[ファイル]-[共通フォーマット]-[インポ
	しました。	ート]操作をキャンセルした場合に表示
		される操作イベントログです。
52	装置情報をエクスポートしました。	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス

		ポート]操作が正常終了した場合に表示
		される操作イベントログです。
53	装置情報のエクスポートをキャンセ	[ファイル]-[共通フォーマット]-[エクス
	ルしました。	ポート]操作をキャンセルした場合に表
		示される操作イベントログです。
54	グループを追加しました。	[グループ]-[追加]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
55	グループの追加をキャンセルしまし	[グループ]-[追加]操作をキャンセルした
	た。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
56	グループ情報を更新しました。	[グループ]-[編集]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
57	グループ情報の更新をキャンセルし	[グループ]-[編集]操作をキャンセルした
	ました。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
58	グループを削除しました。	[グループ]-[削除]操作が正常終了した場
		合に表示される操作イベントログです。
59	グループの削除をキャンセルしまし	[グループ]-[削除]操作をキャンセルした
	た。	場合に表示される操作イベントログで
		す。
60	装置を追加しました。	[装置]-[追加]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
61	装置の追加をキャンセルしました。	[装置]-[追加]操作をキャンセルした場合
		に表示される操作イベントログです。
62	装置情報を更新しました。	[装置]-[編集]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
63	装置情報の更新をキャンセルしまし	[装置]-[編集]操作をキャンセルした場合
	7=.	に表示される操作イベントログです。
64	装置を削除しました。	[装置]-[削除]操作が正常終了した場合に
		表示される操作イベントログです。
65	装置の削除をキャンセルしました。	[装置]-[削除]操作をキャンセルした場
		合に表示される操作イベントログです。
66	グループ [グループ名]に対する運用	[運用バージョン取得]操作開始時に表示
	バージョン取得を開始します。	される操作イベントログです。
67	グループ [グループ名]に対する運用	シリアル実行モードで[運用バージョン

	バージョン取得が正常終了しまし	取得]操作が正常終了した場合に表示さ
	た。	れる操作イベントログです。
68	グループ [グループ名]に対する運用	[運用バージョン取得]操作をキャンセル
	バージョン取得をキャンセルしまし	した場合に表示される操作イベントログ
	<i>t</i> ≥₀	です。
69	グループ [グループ名]に対する運用	パラレル実行モードで[運用バージョン
	バージョン取得が終了しました。	取得]操作が終了した場合に表示される
		操作イベントログです。
70	グループ [グループ名]に対するソフ	[実行]操作開始時に表示される操作イベ
	トウェア更新を開始します。	ントログです。
71	グループ [グループ名]に対するソフ	シリアル実行モードで[実行]操作が正常
	トウェア更新が正常終了しました。	終了した場合に表示される操作イベント
		ログです。
72	グループ [グループ名]に対するソフ	[実行]操作をキャンセルした場合に表示
	トウェア更新をキャンセルしまし	される操作イベントログです。
	た。	
73	グループ [グループ名]に対するソフ	パラレル実行モードで[実行]操作が終了
	トウェア更新が終了しました。	した場合に表示される操作イベントログ
		です。
		• > 0
74	ソフトウェアファイル格納先ディレ	ソフトウェアファイル格納先ディレクト
74	ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示
74	ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。
74	ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト
74	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし 	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表
74	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。
74 75 76	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始
74 75 76	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは
74 75 76	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 	ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。
74 75 76 77	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しま 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。
74 75 76 77	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しました。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。 装置に対する運用バージョン取得が正常 終了した際に出力されます。本メッセー
74 75 76 77	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しました。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。 装置に対する運用バージョン取得が正常 終了した際に出力されます。本メッセージは装置単位に出力されます。
74 75 76 77 77 78	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しました。 処理を中止します。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。 装置に対する運用バージョン取得が正常 終了した際に出力されます。本メッセージは装置単位に出力されます。 実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
74 75 76 77 77 78	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しました。 処理を中止します。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。 装置に対する運用バージョン取得が正常 終了した際に出力されます。本メッセージは装置単位に出力されます。 実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装 置に対する運用バージョン取得をキャン
74 75 76 77 77 78	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しました。 処理を中止します。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表 示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。 装置に対する運用バージョン取得が正常 終了した際に出力されます。本メッセー ジは装置単位に出力されます。 実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装 置に対する運用バージョン取得をキャン セルした際に出力されます。本メッセー
74 75 76 77 77 78	 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリを更新しました。 ソフトウェアファイル格納先ディレ クトリの更新をキャンセルしまし た。 運用バージョン取得を開始します。 運用バージョン取得が正常終了しました。 処理を中止します。 	 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作が正常終了した場合に表示 される操作イベントログです。 ソフトウェアファイル格納先ディレクト リの更新操作をキャンセルした場合に表示される操作イベントログです。 装置に対して運用バージョン取得を開始 する際に出力されます。本メッセージは 装置単位に出力されます。 装置に対する運用バージョン取得が正常 終了した際に出力されます。本メッセージは装置単位に出力されます。 実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装 置に対する運用バージョン取得をキャン セルした際に出力されます。本メッセージは装置単位に出力されます。

	ファイルのアップロードおよびソフ	置に対する運用バージョン取得をキャン
	トウェア更新は行いません。)	セルした際に出力されます。本メッセー
		ジは装置単位に出力されます。
80	ソフトウェアファイルのアップロー	装置に対してソフトウェアのアップロー
	ドを開始します。	ドを開始する際に出力されます。本メッ
		セージは装置単位に出力されます。
81	ソフトウェアファイルのアップロー	装置に対してソフトウェアのアップロー
	ドが正常終了しました。	ドを行い,そのアップロードが正常出力
		されます。本メッセージは装置単位に出
		力されます。
82	処理を中止します。(ソフトウェア	装置に対してソフトウェア更新を実施
	ファイルのアップロードまで行いソ	し、ソフトウェア更新前に中止した際に
	フトウェア更新は行いません。)	出力されます。本メッセージは装置単位
		に出力されます。
83	ソフトウェア更新を開始します。	装置に対してソフトウェア更新を開始す
		る際に出力されます。本メッセージは装
		置単位に出力されます。
84	ソフトウェア更新が正常終了しまし	装置に対するソフトウェア更新が正常終
	7€°	了した際に出力されます。本メッセージ
		は装置単位に出力されます。
85	処理を中止します。(ソフトウェア	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	更新まで行い装置の再起動確認は行	置に対するソフトウェア更新をキャンセ
	いません。)	ルした際に出力されます。本メッセージ
		は装置単位に出力されます。
86	待機系のソフトウェア更新を開始し	装置が冗長構成の場合,装置の待機系に
	ます。	対してソフトウェア更新を開始する際に
		出力されます。本メッセージは装置単位
		に出力されます。
87	待機系のソフトウェア更新が正常終	装置が冗長構成の場合,装置の待機系に
	了しました。	対してソフトウェア更新後の再起動確認
		が正常終了した際に出力されます。本メ
		ッセージは装置単位に出力されます。
88	処理を中止します。(待機系のソフ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	トウェア更新まで行い待機系の再起	置に対するソフトウェア更新をキャンセ
	動確認以降の処理は行いません。)	ルした際に出力されます。本メッセージ
		は装置単位に出力されます。

89	運用系のソフトウェア更新を開始し	装置が冗長構成の場合、装置の運用系に
	ます。	対してソフトウェア更新を開始する際に
		出力されます。本メッセージは装置単位
		に出力されます。
90	運用系のソフトウェア更新が正常終	装置が冗長構成の場合、装置の運用系に
	了しました。	対してソフトウェア更新後の再起動確認
		が正常終了した際に出力されます。本メ
		ッセージは装置単位に出力されます。
91	処理を中止します。(運用系のソフ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	トウェア更新まで行い旧運用系の再	置に対するソフトウェア更新をキャンセ
	起動確認は行いません。)	ルした際に出力されます。本メッセージ
		は装置単位に出力されます。
92	処理を中止します。(運用系のソフ	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
	トウェア更新まで行い運用系の再起	置に対するソフトウェア更新をキャンセ
	動確認は行いません。)	ルした際に出力されます。本メッセージ
		は装置単位に出力されます。
93	装置の再起動確認を開始します。	装置に対してソフトウェア更新後の再起
		動確認を開始する際に出力されます。本
		メッセージは装置単位に出力されます。
94	装置の再起動確認が正常終了しまし	装置に対するソフトウェア更新後の再起
	た。	動確認が正常終了した際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
95	処理を中止します。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対するソフトウェア更新後の再起動
		確認をキャンセルした際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
96	待機系の再起動確認を開始します。	装置が冗長構成の場合,装置の待機系の
		再起動確認を開始する際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
97	待機系の再起動確認が正常終了しま	装置が冗長構成の場合、装置の待機系の
	した。	再起動確認が正常終了した際に出力され
		ます。本メッセージは装置単位に出力さ
		れます。

98	処理を中止します。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対する待機系のソフトウェア更新後
		の再起動確認をキャンセルした際に出力
		されます。本メッセージは装置単位に出
		力されます。
99	旧運用系の再起動確認を開始しま	装置が冗長構成の場合,装置の旧運用系
	す。	の再起動確認を開始する際に出力されま
		す。本メッセージは装置単位に出力され
		ます。
100	旧運用系の再起動確認が正常終了し	装置が冗長構成の場合、装置の旧運用系
	ました。	の再起動確認が正常終了した際に出力さ
		れます。本メッセージは装置単位に出力
		されます。
101	運用系の再起動確認を開始します。	装置が冗長構成でない場合,装置の運用
		系の再起動確認を開始する際に出力され
		ます。本メッセージは装置単位に出力さ
		れます。
102	運用系の再起動確認が正常終了しま	装置が冗長構成でない場合、装置の運用
	した。	系の再起動確認が正常終了した際に出力
		されます。本メッセージは装置単位に出
		力されます。
103	処理を中止します。	実行中画面の[中止]ボタンを押下し,装
		置に対する旧運用系のソフトウェア更新
		後の再起動確認をキャンセルした際に出
		力されます。本メッセージは装置単位に
		出力されます。
104	ログのファイル出力に失敗しまし	動作ログのファイルへの出力に失敗した
	te.	場合に出力されるエラーメッセージで
		す。動作ログの格納ディレクトリの作成
		に失敗したか、動作ログファイルの書き
		込みに失敗しました。
		動作ログファイルを外部のエディタで開
		いている場合は閉じてください。動作ロ
		グファイルおよび出力先ディレクトリが
		読み取り専用属性になっている場合はア
		クセス権を設定してください。

	動作ログファイルおよび出力先ディレク
	トリについては設定ファイル内容を参照
	ください。

5.3 ログファイル

ソフトウェア更新ツールでは以下2種類のログファイルが障害解析用に出力さ れます。それぞれのログファイルに格納される情報および格納先ディレクトリ を説明します。

・動作ログファイル

ログ情報テーブルに表示された内容すべてを記録したファイルです。デフォル トでは、以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>¥SoftwareUpdater¥table-log

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility

・デバッグログファイル

ソフトウェア更新ツールの動作内容や,エラー情報を記録した障害解析用のフ ァイルです。デフォルトでは,以下のディレクトリに格納されています。

<TARGETDIR>¥SoftwareUpdater¥trace-log

<TARGETDIR>…AX-Networker's-Utility インストール先ディレクトリ

デフォルトは C:¥Alaxala¥AX-Networker's-Utility